

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合
(e) 原水槽を水源とした可 搬型大型遠水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内温度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内圧力	2	2	0	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内圧力	2	2	2	2	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価	SBO									
		分類	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器												
			計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM			計器名称	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
(e) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	操作	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	1	1	規定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
				1	1	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。					
				2 (2)	1	—	—	格納容器水位	1	1	0	0	格納容器水位	1	0		0	格納容器水位
				2 (2)	2	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2	1	1	1	2	2	1		1	水源である燃料取扱用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。
				2 (2)	2	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1	2	2	1		1	水源である燃料取扱用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)及び代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。
				1	1	—	—	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量(AM用)	1	1	0	0	1	1	0		0	B-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)及び代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容 器水位の代替監視可能。
				1	1	—	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	1	1	0		0	代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量により格納容器水位の代替監視 可能。
				2 (2)	2	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2	1	1	1	2	2	1		1	水源である燃料取扱用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)及び代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容 器水位の代替監視可能。
				2 (2)	2	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1	2	2	1		1	水源である燃料取扱用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)及び代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容 器水位の代替監視可能。
				1	1	—	—	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量(AM用)	1	1	0	0	1	1	0		0	B-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)及び代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容 器水位の代替監視可能。
水源の確保	2次系純水タンク水位	2次系純水タンク水位	2	1	—	—	—	—	—	2	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	
			2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源を 延命した場合	B電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源を 延命した場合		B電源を 延命した場合
1.6.2 原子炉格納容器の故障を防止するための対応手順 (2) サポート系開始時の対応手順 * 代替格納容器スプレイ 判断基準 (a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材温度 (広域-低濃側) により炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の圧力	4 (2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の圧力	2	2	2	0	①	—	格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
	原子炉格納容器への注水量	2 (2)	2	0	0	②	—	燃料取替用水レベル流量	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水レベル流量の代替監視可能。
	水源の確保	2 (2)	2	1	1	①	—	補助給水レベル流量	2 (2)	2	1	1	補助給水レベル流量の代替監視可能。
		2 (2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水レベル流量	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水レベル流量の代替監視可能。
		2 (2)	2	1	1	①	—	補助給水レベル流量	2 (2)	2	1	1	補助給水レベル流量の代替監視可能。
		2 (2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水レベル流量	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水レベル流量の代替監視可能。
		2 (2)	2	1	1	①	—	補助給水レベル流量	2 (2)	2	1	1	補助給水レベル流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM				
					直後	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 内へのスプレイ	電源	電原	注時線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	注時線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパラ メータ	-	-	-	-	-	-	-	-		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の 受電状態を監視するパ ラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-		
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-		
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-		
			操作	1.6.2.2(1) b. (a)ii. と同様。														

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合		
(b) B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	初心出口温度	1	1	1*1	0	-	-	1次冷却材温度(広域-高温側)	3	3	3	0	1次冷却材温度(広域-高温側)により初心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		格納容器内高レンジェリアモニタ(高レンジ)	2	2	1	1	-	-	1次冷却材温度(広域-低温側)	3	3	0	3	1次冷却材温度(広域-低温側)により初心出口温度の代替監視可能。		
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジェリアモニタ(低レンジ)	2	2	2	1	-	-	格納容器内高レンジェリアモニタ(低レンジ)	2	2	2	1	格納容器内高レンジェリアモニタ(低レンジ)並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		モニタリングポスト	7	7	0	0	-	-	モニタリングポスト	7	7	0	0			
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器圧力	4	4	1	1	-	-	原子炉格納容器圧力(監視)	1	1	0	0	原子炉格納容器圧力(監視)により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			燃料取替用水ピット水位	2	2	2	1	-	-	燃料取替用水ピット水位	2	2	2	0	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
		原子炉格納容器スプレイポンプへの注水量	原子炉格納容器圧力(AM用)	2	2	2	0	-	-	原子炉格納容器圧力(監視)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力(監視)により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			燃料取替用水ピット水位	2	2	2	1	-	-	燃料取替用水ピット水位	2	2	2	1	水質である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	水脈の確保	水脈の確保	燃料取替用水ピット水位	2	2	2	1	-	-	燃料取替用水ピット水位	2	2	2	1	水質である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			補助給水ピット水位	1	1	1	0	-	-	補助給水ピット水位	2	2	2	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		燃料取替用水ピット水位	2	2	2	1	-	-	燃料取替用水ピット水位	2	2	2	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数

A/B/C：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO			
					直後	A直前電源を 延命した場合			直後	B直前電源を 延命した場合					
(b) B-1格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 (2)	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。	
				格納容器圧力 (AM用)	2	2	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0		
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
					格納容器内温度	2 (2)	—	—	—	格納容器内温度	2	1	1	1	
					原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4	1	1	1	
					格納容器圧力 (監視)	2	2	—	—	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	
	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
					格納容器水位	2 (2)	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2	1	1	1	
					原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	
					格納容器水位	1	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	0	
原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。	
				補助給水ピット水位	2 (2)	—	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1		
				B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	—	—	—	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0		
				代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0		
				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1		
				補助給水ピット水位	2 (2)	—	—	—	補助給水ピット水位	2	2	1	1		
原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量	1	1	0	—	—	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
				代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0		
				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1		
				補助給水ピット水位	2 (2)	—	—	—	補助給水ピット水位	2	2	1	1		

全: すべてのループの計器の合計数
A(0,0): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
(b) B-格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容 器への注水量	B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水ピット水位の 傾向監視によりB-格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 水位変化によりB-格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
	水源の確保	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	2 (2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位 の傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料取替用水ピット水位	1	1	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。	
補機冷却	補機冷却	B-格納容器スプレイポンプ 補機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	2	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水 位 (圧域) により燃料取替用水ピット 水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイポンプ 電動機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	2	2	0	0	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算 流量 (AM用) 及び格納容器スプレイ流 量の燃料取替用水ピット水位を水源と するポンプの注水量の合計により、水 源の有無や使用量を推定可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合		
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内のスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器 初心出口温度	1	1	1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により初心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。		
		原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温) により初心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。		
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	2	1	格納容器内高レンジエリモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により初心出口の急れが生じているかを推定可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。		
		原子炉格納容器	2	2	2	0	—	—	モニタリングステーション	1	1	0	0	格納容器内高レンジエリモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により初心出口の急れが生じているかを推定可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。		
	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。		
		原子炉格納容器	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は原子炉格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。	
	水脈の確保	水脈の確保	B-1格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
			B-1格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水レベル	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
	水脈の確保	水脈の確保	B-2格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水レベル	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
			B-2格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水レベル	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合						
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー	判断基準	電源	送電線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMF)	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMF)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMF)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			操作	1.6.2.(1) b. (b) ii. と同様、ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。													

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合		B電源電圧を 延命した場合	
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温度)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温度) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
		2	1	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温度)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温度) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	2	2	—	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	2	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
		4	4	1	1	—	—	モニタリングポスト モニタリングステーション	7 (2)	7	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
		4	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0	0	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	B—格納容器スプレイ流量	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	2	2	0	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器への注水量	1	1	1	0	—	—	B—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	2 (2)	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の水位変化によりB—格納容器スプレイ流量の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	2	2	0	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の水位変化によりB—格納容器スプレイ流量の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はDPM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合					
(4) 海水を用いた四線型大 型送水ポンプ車による原子炉 格納容器内へのスプレイ	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM/F)	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM/F)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM/F)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			抽機監視機能														
			操作														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

1.6.2.2(1) b. (c)ii. と同様。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(6) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1	0	0	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域-高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて確認。	
		原子炉圧力容器内の放射線量率	2	1	1	1	1	2	2	2	1	1次冷却材温度 (広域-低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4	1	1	1	1	4	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
		原子炉格納容器内の圧力	2	2	0	0	0	2	2	2	1	1	格納容器内温度 (広域) の代替監視可能。
	原子炉格納容器への在水量	B-1格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	0	2	2	2	2	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 燃料取替用水ピット水位 (広域) の代替監視可能。
		B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	0	2	2	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 燃料取替用水ピット水位 (広域) の代替監視可能。
	原子炉格納容器への在水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	0	2	2	2	2	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。 燃料取替用水ピット水位 (広域) の代替監視可能。
		燃料取替用水ピット水位	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	燃料取替用水ピット水位 (広域) の代替監視可能。 燃料取替用水ピット水位 (狭域) の代替監視可能。
	原子炉格納容器への在水量	補助給水ピット水位	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	燃料取替用水ピット水位 (狭域) の代替監視可能。 補助給水ピット水位 (狭域) の代替監視可能。
		格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) の代替監視可能。

* 1 : 常用水から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数
A(0) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価									
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器												
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合						
(6) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			後送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM/F)	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM/F)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM/F)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM/F)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			操作	1.6.2.2(1) b. (d)ii. と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はDPM	直後	A電源を 延命した場合	B電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A電源を 延命した場合		B電源を 延命した場合
(G) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温度)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温度) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて 確認。
		2	1	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温度) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2	2	2	2	—	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。 メータにて 確認。
		4	4	4	4	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4 (2)	4 (2)	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	2	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器圧力 (AM用) 又は原子炉格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 メータにて 確認。
		2	2	2	2	—	—	格納容器圧力 (監視)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器圧力 (AM用) 又は原子炉格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 メータにて 確認。
	原子炉格納容器 への在水量	1	1	1	1	—	—	B—格納容器スプレイ流量	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (監視) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 メータにて 確認。
		1	1	1	1	—	—	B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0	格納容器圧力/圧力の関係を利用して格納 容器内温度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 メータにて 確認。
	原子炉格納容器 への在水量	1	1	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。 メータにて 確認。
		1	1	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。 メータにて 確認。
原子炉格納容器 への在水量	1	1	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。 メータにて 確認。	
	1	1	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。 メータにて 確認。	
原子炉格納容器 への在水量	1	1	1	1	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	水盤である燃料取替用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイ出口積算 流量の代替監視可能。 メータにて 確認。	
	1	1	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	水盤である燃料取替用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイ出口積算 流量の代替監視可能。 メータにて 確認。	

* 1 : 常用水から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数
A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合						
(F) 原水槽を水源とした可 搬型大流量送水ポンプ系による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	電源	電源	計器名称	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器品牌等	SBO		
			活栓線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM/F)	3	0	0	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM/F)	2	2	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM/F)	4	4	0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			抽機監視機能													
操作																

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO			
									A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合 直後					
(a) 可搬型大気送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 (b) サポート系開始時の対応手順 1.6.2 原子炉格納容器の故障を防止するための対応手順 2. 格納容器内自然対流冷却	原子炉圧力容器内の温度		1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は代替パラメータにて監視。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) モニタリングポスト モニタリングステーション	2 (2)	2	7	0	0	監視事項は格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示のいずれを優先監視により炉心温度の監視が生じているか否かを推定可能。
	電源	始動線 1 L 電圧, 2 L 電圧		2	2	0	0	③	—	始動線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧		2	2	0	0	③	—	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧		4	4	0	0	③	—	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		6-A, B, C1, C2, D 母線電圧		7 (2)	7	1	1	③	—	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
	補機監視機器	原子炉補機冷却水供給管流量		3	3	0	0	③	—	原子炉補機冷却水供給管流量	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給管流量 (AMU)		2	2	2	0	③	—	原子炉補機冷却水供給管流量 (AMU)	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量		4	4	0	0	③	—	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMU)		4	4	4	0	③	—	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMU)	—	—	—	—	—
操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧監視を防止するための手順等」のうち、1.7.2.(1) a. 「可搬型大気送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内自然対流冷却」にて監視する。											—	—		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じSBO点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器名称等	SBO
						A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時) (1) 格納容器スプレイ	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。	
			2 (2)	2	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側) 格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	3 (3)	0 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。		
a. 格納容器スプレイポンプ による原子炉格納容器内への スプレイ	原子炉格納容器 内の放射線量率	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングシステム上の指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。	
			4 (2)	4	1	1	①	—	モニタリングポスト モニタリングシステムステーション	7	7	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。		
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	2	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。	
			4 (2)	4	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	1	1	0	0	格納容器圧力 (監視) により原子炉格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。		
			2	2	2	0	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容 器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。	
			2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	評価範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (監視) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。		
			2	2	2	0	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	格納容器内温度により原子炉格納容 器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。	
			2	2	2	0	①	—	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	格納容器内温度により原子炉格納容 器圧力 (AM用) の代替監視可能。		

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じSBO点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B, C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合
a. 格納容器スプレイポンプ による原子炉格納容器内への スプレイ	判 断 基 準	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレイ流量	2	②	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	①	—	燃料取扱用水レベル水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	
			燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	①	—	燃料取扱用水レベル水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位の 傾向監視によりB—格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	
		水源の確保	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	①	—	燃料取扱用水レベル水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1	燃料取扱用水レベル水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	SBO影響			
							直後	A直前電源を 延命した場合				直後		B直前電源を 延命した場合	
a. 格納容器スプレイポンプ による原子炉格納容器内への スプレイ	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内の温度	2	格納容器内温度	①	—	4	原子炉格納容器圧力		4	原子炉格納容器圧力	1	原子炉格納容器内温度	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	格納容器圧力 (AM用)		—	2	格納容器圧力 (AM用)		2	格納容器圧力 (AM用)	2	格納容器内温度	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	4	原子炉格納容器圧力	①	—	2	格納容器内温度		2	格納容器内温度	1	原子炉格納容器圧力	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	格納容器圧力 (AM用)	①	—	2	原子炉格納容器圧力		2	原子炉格納容器圧力	0	格納容器内温度	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	操作	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	①	—	2	格納容器内温度		2	格納容器内温度	1	格納容器圧力 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				2	燃料取替用水レベル		—	2	燃料取替用水レベル		2	燃料取替用水レベル	1	格納容器圧力 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				2	補助給水レベル		—	2	補助給水レベル		2	補助給水レベル	1	格納容器圧力 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				2	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)		—	2	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)		2	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	格納容器圧力 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				2	代用格納容器スプレイポンプ 出口積算流量		—	2	代用格納容器スプレイポンプ 出口積算流量		2	代用格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	格納容器圧力 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				2	燃料取替用水レベル		—	2	燃料取替用水レベル		2	燃料取替用水レベル	1	格納容器圧力 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(0, ①)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
a. 格納容器スプレィポンプ による原子炉格納容器内への スプレィ	原子炉格納容器 への注水量	2	格納容器スプレィ流量	②	—	2	燃料取扱用水ピット水位			2	燃料取扱用水ピット水位		1	1	水漏れである燃料取扱用水ピット水位の 傾向監視により格納容器スプレィ流量 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		1	B—格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①	—	2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)			2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)		1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレィ 冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。		
	2	燃料取扱用水ピット水位			2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)			2	燃料取扱用水ピット水位		2	2	2	2	水漏れである燃料取扱用水ピット水位 の傾向監視によりB—格納容器スプレィ 冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	2	格納容器再循環サンプ水位			2	燃料取扱用水ピット水位			2	燃料取扱用水ピット水位		2	2	2	2	水漏れである燃料取扱用水ピット水位 の傾向監視によりB—格納容器スプレィ 冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。	
水源の確保		2	燃料取扱用水ピット水位	①	—	2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)			2	燃料取扱用水ピット水位		1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水 位 (広域) により燃料取扱用水ピット 水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		2	格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)			1	B—格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)			2	燃料取扱用水ピット水位		2	2	2		B—格納容器スプレィ冷却器出口積算 流量 (AM用) 及び格納容器スプレィ流 量の燃料取扱用水ピット水位を水源と するポンプの注水量の合計により、水 源の有無や使用量を推定可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響					
							直後	A電源電源を 延命した場合	直後	B電源電源を 延命した場合				
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時)	格納容器内自然対流冷却	原子炉格納容器内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。		
			2 (2)	2	1	1	①	—	2 (2)	2	1	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。		
			4 (2)	4	1	1	①	—	2	2	2	0	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) 並びにモニタリングポストの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	2	2	0	①	—	2 (2)	2	2	1	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) 及びモニタリングポストの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
			4 (2)	4	1	1	①	—	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	2	2	0	①	—	2 (2)	2	2	1	原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	2	2	0	②	—	2 (2)	2	2	2	1	格納容器内温度 及び格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
			2	2	0	0	②	—	2 (2)	2	2	2	1	燃料取替用水レベル水位 及び格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	1	1	0	①	—	2 (2)	2	2	2	1	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
			2	2	2	0	②	—	2 (2)	2	2	2	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はDPM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
a. C, D—格納容器再循環 ユニットによる格納容器内自 然対流冷却	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	格納容器内温度	①	—	4 (2)	原子炉格納容器圧力		4	1	1	格納容器再循環ユニットの温度/出口温度/出口圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		1	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	②	—	2	格納容器圧力 (AM用)		2	2	0	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	操 作	最終ヒートシンク の確保	2 (2)	原子炉補機冷却水サージタンク水位	①	—	2	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度		2	0	2*1	格納容器再循環ユニットの温度/出口温度/出口圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	C, D—格納容器再循環ユニット補機冷却水流量	②	—	2	格納容器内温度		2	2	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	C, D—原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度	②	—	2	原子炉格納容器圧力		4	4	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			1	B—原子炉補機冷却水戻り母管温度	②	—	2	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度		2	0	2*1	2*1	格納容器再循環ユニットの温度/出口温度/出口圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	①	—	2	格納容器内温度		2	2	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	原子炉格納容器圧力	①	—	4	原子炉格納容器圧力		4	4	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	②	—	2	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度		2	0	2*1	2*1	格納容器再循環ユニットの温度/出口温度/出口圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	②	—	2	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度		2	0	2*1	2*1	格納容器再循環ユニットの温度/出口温度/出口圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：計器取付後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価			
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等		SBO	
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合		
a. C, D一巻筒容器再循環 ユニットによる格納容器内目 検対応計画	原子炉格納容器 内の水素濃度	原子炉格納容器 内の水素濃度	1	①	—	5	原子炉格納容器内水素処理装 置直後	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置直後及 び格納容器水素イグナイタ直前において 原子炉格納容器内水素処理装置及び 格納容器水素イグナイタの動作時中の水素濃 度が大規模な水素濃度が生じない領域 であることを確認可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			0	1*1	0	1.3	格納容器水素イグナイタ直後	1.3	0	監視可能であればガス分析計により水 素濃度を確認し、ガス分析計の結果に 基づき格納容器内水素濃度の代替監視 可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			4 (2)	1	—	2	格納容器圧力 (AM用)	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (装域) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			4 (2)	①	—	1	格納容器圧力 (装域)	1	0	格納容器圧力 (装域) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	2	0	—	2	格納容器内圧度	2	1	格納容器内圧度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	0	—	2	格納容器内圧度	2	1	格納容器内圧度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			4 (2)	①	—	4	原子炉格納容器圧力	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (装域) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	0	—	2	格納容器圧力 (装域)	1	0	0	格納容器圧力 (装域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器内圧度	2 (2)	2	1	1	格納容器内圧度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧度により格納容器圧力 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

* 1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	直後	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器故障等	SBO		
																直後	直後
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時) (3) 代替格納容器スプレイ	原子炉圧力容器内の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器スプレイ流量 原子炉格納容器への注水量 水原の確保	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1	1	0	②	—	3	3 (全)	3	3 (全)	0	1 次冷却材温度 (広域-高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。 2 次冷却材温度 (広域-低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて機器。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	1	0	①	—	2	2	2	2	1	格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
		原子炉格納容器内の圧力	4 (2)	4	1	1	1	1	①	—	2	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (乾燥) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
		原子炉格納容器スプレイ流量	2	2	2	0	0	①	②	—	2	2	2	2	1	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 格納容器圧力 (乾燥) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
		原子炉格納容器への注水量	1	1	1	1	0	①	①	—	2	2	2	2	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
		水原の確保	2 (2)	2	1	1	1	①	①	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により B-1 格納容器スプレイ出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
		補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	①	①	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により B-1 格納容器スプレイ出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
		原子炉格納容器スプレイ流量	2	2	2	0	0	②	②	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
		原子炉格納容器への注水量	1	1	1	1	0	①	①	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により B-1 格納容器スプレイ出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
		水原の確保	2 (2)	2	1	1	1	①	①	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により B-1 格納容器スプレイ出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて機器。
原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(1) b. (a) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(1) b. (a) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。																

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数
*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温度)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温度) により炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温度)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温度) により炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて確認。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	2	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示のメータにて上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	
	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (検数) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
			格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	格納容器圧力 (AM用)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
			格納容器内温度	2	2	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
			原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (検数)	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (検数) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
	操作	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器出口積算流量	1	1	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
			ろ過水タンク水位	2	2	0	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水質である燃料取替用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			ろ過水タンク水位	2	2	0	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
ろ過水タンク水位			2	2	0	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(1) b. 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。													

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	SBO					
判別基準 c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-高圧側) (個)	3 (3)	3 (全)	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-低圧側) (個) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視) 原子炉格納容器内温度	1	1	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器への注水量	2	2	2	0	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用) 格納容器圧力 (監視) 格納容器内温度	4 (2)	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	
操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(1) b. (c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。	原子炉格納容器への注水量	1	1	1	0	—	—	—	燃料取替用水レベル水位 補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	2	2	2	0	—	—	—	格納容器内高圧側ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器内の圧力	4	4	1	1	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用) 格納容器圧力 (監視) 格納容器内温度	4 (2)	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の放射線量率	2	2	1	1	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用) 格納容器圧力 (監視) 格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A/B/C：当該ループの計器数

*1：常川系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (熱感)	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力は格納容器圧力 (熱感) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ビット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位の傾向監視により代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(1) b. (d) 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				SBO		
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合
e. 原水槽を水源とした可搬型大開送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)		—		格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器圧力 (AM用)	2	2	0		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器内温度	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
		格納容器圧力 (熱感)	2	2	0		格納容器圧力 (熱感)	1	1	0	0	格納容器内温度	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力は格納容器圧力 (熱感) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		燃料取替用水レベル水位		2	2	1	1	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0		補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水素である格納容器内水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器再循環サンプル水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	格納容器再循環サンプル水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプル水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
操作		「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(1) b. (e) 「原水槽を水源とした可搬型大開送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。											

全: すべてのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
1.7.2.2 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温)	3 (全)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて	
		2 (2)	2	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域-低温)	3 (全)	3 (全)	0 (全)	3	1次冷却材温度 (広域-低温) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は	
		2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングタクトの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は	
		2	2	0	0	③	—	冷却線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	③	—	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		4	4	0	0	③	—	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		7 (2)	7	1	1	③	—	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		3	3	0	0	③	—	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		2	2	2	0	③	—	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		4	4	0	0	③	—	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
判別基準	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	4	4	4	0	③	—	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	1	0	0	0	—	—	
		4	4	4	0	③	—	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	1	0	0	0	—	—	

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
a. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器許容圧縮機ユニットによる格納容器内自蒸気放熱	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	①	-	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	C、D-格納容器許容圧縮機ユニット駆動油/水流量	2	②	-	格納容器内温度	2 (2)	2	2	2	0	0	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	最終ヒートシンクの確風	2	①	-	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	2*2	2*2	0	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	操作	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	2			原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5			0	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器内水素処理装置において原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器内水素処理装置の動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大幅な水素濃度が生じない領域にあることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器内水素濃度	1	①	-	格納容器水素イグナイタ温度	1.3	1.3	0	0	0	0	監視可能であればガス分析計により水素濃度を監視し、ガス分析計の結果に基づき格納容器内水素濃度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	①	-	格納容器圧力 (監視)	1	1	1	0	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2	①	-	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
						原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
						格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
						原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
					格納容器圧力 (AM用)	1	1	0	0	0	0	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
					格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

* 2：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合		B電源電圧を 延命した場合		
1.7.2.2 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時） (2) 代替格納容器スプレイ a. 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (全)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		2 (2)	2	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングシステム上の指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		4 (2)	4	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱減) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	1	1	格納容器内温度	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2 (2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1	格納容器内温度	格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
	水櫃の確保	2 (2)	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2	2	1	1	—	—	—
		2 (2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	A:直流電源を 延命した場合 直後		B:直流電源を 延命した場合			
a. 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	電源	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	送給線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-	
		後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-	
		6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-	
		原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-	
		原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	-	-	-	-	-	-	-	-	
		判断基準	抽機監視機能	[1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等]のうち, 1.6.2.2(2)a, (d) [代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ]の操作手順と同様である。												
				全: すべてのループの計器の合計数 A(B,C): 当該ループの計器数												
操作		[1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等]のうち, 1.6.2.2(2)a, (d) [代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ]の操作手順と同様である。														

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合
b. B-格納容器スプレイポンプ(自己作動)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温度)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域-高温度) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		炉心出口温度	1	1	1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温度)	3	3	0	3	1次冷却材温度 (広域-低温度) により炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		モニタリングポスト	7	7	0	0	—	—	モニタリングポスト	7	7	0	0	同上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (緊急) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	2	2	0	0	—	—	格納容器内温度	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
		原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	2	—	—	原子炉格納容器圧力 (緊急)	1	1	0	0	評価範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (緊急) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		格納容器内温度	2	2	1	1	—	—	格納容器内温度	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
	原子炉格納容器への注水量	燃料取替用水ピット水位	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1	水溜である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口流量の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		補助給水ピット水位	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口流量の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	

全: オブセのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

* 1: 常川系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						計器数 ()内はDPM	抽出パラメータを計測する計器		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価					
			計器名称	パラメータ 分類	補則パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SBO				
h. B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	冷幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	—	—	—	—	—	2	0	0	—	—	—	—	—			
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	—	—	—	—	—	—	2	0	0	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	—	—	—	—	—	—	4	0	0	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	—	—	—	—	—	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM/F)	—	—	—	—	—	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	
		抽機監視機能	操作	原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM/F)	—	—	—	—	—	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—
				原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	—	—	—	—	—	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—
				原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM/F)	—	—	—	—	—	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—
				原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM/F)	—	—	—	—	—	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—
				原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM/F)	—	—	—	—	—	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—
「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.(2) a. (b) 「B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。																			

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源を 延命した場合	B電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源を 延命した場合		B電源を 延命した場合	
c. ディゼーゼル駆動消防ポンプによる原子炉格納容器内のスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温) により炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	監視事項は主要パラメータにて確認。
		4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度	監視事項は主要パラメータにて確認。
		4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
	原子炉格納容器への注水量	1	1	0	0	—	—	B-1格納容器スプレイ流量	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	水脈の確保	2	2	0	0	—	—	ろ過水タンク水位	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水レベル水位	監視事項は主要パラメータにて確認。
		1	1	1	0	—	—	B-1格納容器スプレイ水位	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水レベル水位 (広域) の水位変化によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
水脈の確保	2	2	0	0	—	—	ろ過水タンク水位	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水レベル水位	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	1	1	1	0	—	—	B-1格納容器スプレイ出口積算流量 (AM用)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の水位変化によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。		

* 1 : 常用品から状態を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価							
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合						
6. ディーゼル駆動ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMF)	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMF)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMF)	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			操作	[1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等]のうち, 1.6.2.(2)a, (c) 「ディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。	抽機監視機能														

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合		B電源電圧を 延命した場合					
d. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による原子炉格 納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温度 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温度) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
		2	1			—	—	1次冷却材温度 (広域—低温度 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温度) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)						格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
		4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
	原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	1	1	0	0	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納 容器内温度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 への注水量	1	1	0	0	—	—	B—格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	—	—	B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ											評価													
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						計器名等												
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響				計器名等											
				直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合															
4. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	電源		計器名称	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			計器名称	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			計器名称	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			計器名称	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			計器名称	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			計器名称	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			計器名称	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			計器名称	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			計器名称				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			計器名称				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	判断基準	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.(2)a. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。																								
	操作																									

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
e. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (検破) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
		格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	格納容器圧力 (検破)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力は格納容器圧力 (検破) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		格納容器内温度	2	2	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
		燃料取替用水レベル流量	1	1	0	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		B-1格納容器スプレイ流量	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	1	1	1	0	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
操作														

全: すべてのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(2)a, (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響					
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
f. 原水槽を水源とした可搬型入型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	1	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (検破) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。	
			格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1		計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力は格納容器圧力 (検破) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
			格納容器内温度	—	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1		格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
			燃料取替用水レベル流量	1	1	0	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1		水源である燃料取替用水レベル水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
			B-1格納容器スプレイ流量	1	1	0	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
			B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1		水源である燃料取替用水レベル水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			原子炉格納容器への注水量	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			—	—	—	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1		水源である燃料取替用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイ積算流量の代替監視可能。
			—	—	—	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイ積算流量の代替監視可能。
			—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(f) a, (f) 「原水槽を水源とした可搬型入型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。													

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響		計器故障等	SBO
							A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合		
1.8.2.1 原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却のための対応手順 (1) 交流動力電源及び原子炉補機令切離機能が健全である場合の手順 * 原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	炉心出口温度	1	1 * 1	0	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2 (2)	1	1	—	4 (2)	4	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			4 (2)	1	1	—	2	2	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	2	1	—	2	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	2	0	—	2	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	2	1	—	2	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	2	1	—	2	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	2	1	—	2	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	2	1	—	2	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	2	1	—	2	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

* 1 : 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
(a) 格納容器スプレイポン プによる原子炉格納容器下部 への注水	水源の確保	燃料量特用水レベル水位	2 (2)	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	①	—	—	モニタリングポスト	7	0	0	0	0	0	0
	判断基準																監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているか否かを推定可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価		
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器候補等		SBO	
					直後	A直前電源を 延命した場合					直後	A直前電源を 延命した場合				
(a) 格納容器スプレイポン プによる原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 格納容器内温度	2 (2)	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。			
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により格納容器圧力の代替監視可能。			
	操 作	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	①	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器水位	1	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	水筒である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイポン出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポン出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1		
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	B-1格納容器スプレイポン出口積 算流量 (AM用)	1	1	1	1	0		
			代替格納容器スプレイポン 出口積算流量	1	1	1	①	—	出口積算流量	1	1	1	1	0		

全: オブジェクトのループの計器の合計数

A/B/C: 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			
					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合		
(a) 格納容器スプレイポン プによる原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の水位	原子炉下部キャピタリ水位	①	-	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	2 (2)	2 (2)	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) に より原子炉下部キャピタリ水位の代替 監視可能。
					燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水流量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の代替監視可能。	
					補助給水レベル水位	2 (2)	2 (2)	1	1	1		
					B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0			
					代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0			
					燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレイ流量	②	-	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	2 (2)	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	
					燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。	
					B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0		格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 傾向監視によりB-1格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。	
					格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	2 (2)	2 (2)	1	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水 位 (圧域) により燃料取替用水レベル 水位の代替監視可能。	
					B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0		B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算 流量 (AM用) 及び格納容器スプレイ流 量の燃料取替用水レベル水位を水源と するポンプの注水量の合計により、水 源の片断や使用量を推定可能。	
					格納容器スプレイ流量	2 (2)	2 (2)	1	1	1		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合		B電源電圧を 延命した場合
(b) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 炉心出口温度	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		4 (2)	4	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力 (AM用) 格納容器圧力 (熱源)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	0	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2 (2)	2	2	0	①	—	格納容器圧力 (AM用) 格納容器圧力 (熱源)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				計器故障等		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM			A直流電源を 延命した場合
(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	①	-	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	1	1	測定範囲内であれば連続的な電流がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
									原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
									格納容器水位	1	1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
									燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
									補助給水レベル水位	2 (2)	1	1	
									B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1	1	0	
									代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B直流電源を 延命した場合	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B直流電源を 延命した場合		
(b) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 下部への注水	原子炉格納容器 への注水量	判 断 基 礎	格納容器スプレイ流量	2	②	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水レベル水位の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	監視事項は メータにて 確認。
			B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	①	—	燃料容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	
			燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	①	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	水源である燃料取扱用水レベルの水位 の傾向監視によりB—格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。	
			補助給水レベル水位	2 (2)	①	—	燃料取扱用水レベル水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレイ 冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監 視可能。	
			水源の確保											

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価			
		分類	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器状態等		SBO		
					直後	A直前電源を 延命した場合					直後	B直前電源を 延命した場合					
(b) 代替格納容器スプレ イポンプによる原子炉格納容 器下部への注水	原子炉格納容 器内の温度	原子炉格納容 器 内の温度	格納容器内温度	2 (2)		1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			原子炉格納容器圧力	4 (2)		1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。			
	原子炉格納容 器内の圧力	原子炉格納容 器 内の圧力	格納容器内温度	2 (2)		0	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			原子炉格納容器圧力	4 (2)		1	①	—	原子炉格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器内温度の代替監視可能。			
	操 作	原子炉格納容 器 内の水位	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)		1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			原子炉下部キャビティ水位	1		1			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器水位	1		1			格納容器水位	1	1	1	0	0			
			燃料取替用水ピット水位	2	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	1	水筒である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ付制御出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
			補助給水ピット水位	2 (2)		1	①	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	1		
出口積算流量	1		1			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	1	0	0					

全: オブ・のループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
(A) 代替格納容器スプレイングポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	1	1	0	①	—	格納容器下部キャビティ水位 (熱線)	2 (2)	2	1	1	格納容器下部キャビティ水位(熱線)に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。	SBO
		原子炉格納容器 内の水位	1	1	0	①	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位、 より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。	
								燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位、 より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。	
								補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位、 より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。	
								B-1格納容器スプレイングポンプ 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イングポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。	
								代替格納容器スプレイングポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イングポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合
(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	①	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		補助給水レベル水位	—	—	—	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	
	電源	代替非常用発電機電圧、電 力、周波数	6	6	0	③	代替非常用発電機の運 転状態を監視するパラ メータ	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		6-A, B 母線電圧	4 (2)	4	1	③	非常用高圧母線の受電 状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	
操作	水源の確保	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	①	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	0	
	補機監視機器	代替格納容器スプレイポンプ 出口圧力	1	1	1	③	代替格納容器スプレイ ポンプの運転状態を確 認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

注：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(c) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプ による原子炉格納容器下部 への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1*1	0	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温) 炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		2 (2)	2	1	1	—	2 (2)	2	2	1	1次冷却材温度 (広域—低温) 炉心出口温度の代替監視可能。 格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	2	1	1	—	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により格納容器内温度 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		4 (2)	4	1	1	—	2 (2)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により格納容器内温度 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	0	—	2 (2)	2	1	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により格納容器内温度 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
(c) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプ による原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)					格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	2	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な変動がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉下部キャビティ水位	1					原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	0	0	0	0	
		格納容器水位	1					格納容器水位	1	1	0	0	0	0	0	0	
		燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1			燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	2	1	1	1	
		補助給水レベル水位	2 (2)	2	1			補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	2	1	1	1	
		B-格納容器スプレィ冷加器 出口積算流量 (AM田)	1					B-格納容器スプレィ冷加器 出口積算流量 (AM田)	1	1	0	0	0	0	0	0	
		代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	1					代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	0	0	0	0	

全: すべてのループの計器の合計数
A(0,0): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後		SBO影響		
(c) 電動機駆動消防ポンプ 又はディーゼル駆動消防ポン プによる原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口流量	1	1	0	—	—	—	—	2	1	1	—	水源地である燃料冷却用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口流 量測定の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		ろ過タンク水位	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
	水源の確保		2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—		—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
(c) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器内の圧力	格納容器内温度	2 (2)	2	0	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器候補等	SBO					
				直後	A直流電源を 延命した場合			直後	B直流電源を 延命した場合							
(c) 電動機駆動消防ポンプ 又はディーゼル駆動消防ポンプ による原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。				
				0	0		1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。							
				0	0		1	0	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2		1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。	
				0	0		1	0	補助給水ピット水位	2 (2)	2		1	1	ろ過タンク水位の傾向監視により格 納容器再循環サンプ水位(広域)の代 替監視可能。	
				0	0		1	0	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量(AM用)	1	1		1	0	AM用消防水積算流量の傾向監視により 格納容器再循環サンプ水位(広域)の 代替監視可能。	
				0	0		1	0	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1		1	0	AM用消防水積算流量の傾向監視により 格納容器再循環サンプ水位(広域)の 代替監視可能。	
				0	0		1	0	ろ過タンク水位	2	2		0	0	ろ過タンク水位の傾向監視により格 納容器再循環サンプ水位(広域)の代 替監視可能。	
				0	0		1	0	AM用消防水積算流量	1	1		1	0	AM用消防水積算流量の傾向監視により 格納容器再循環サンプ水位(広域)の 代替監視可能。	
				0	0		1	0	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2		1	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。
				0	0		1	0	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2		1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。
				0	0		1	0	補助給水ピット水位	2 (2)	2		1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。
				0	0		1	0	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量(AM用)	1	1		1	0	0	ろ過タンク水位の傾向監視により原 子炉下部キャビティ水位の代替監視可 能。
				0	0		1	0	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1		1	0	0	AM用消防水積算流量の傾向監視により 原子炉下部キャビティ水位の代替監視 可能。
				0	0		1	0	ろ過タンク水位	2	2		0	0	0	水源であるろ過タンク水位の傾向監 視によりAM用消防水積算流量の代替 監視可能。
				0	0		1	0	AM用消防水積算流量	1	1		1	0	0	格納容器再循環サンプ水位(狭域)の 傾向監視によりAM用消防水積算流量の 代替監視可能。
0	0	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	ろ過タンク水位	2	2	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	AM用消防水積算流量	1	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	ろ過タンク水位	2	2	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	AM用消防水積算流量	1	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	ろ過タンク水位	2	2	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	AM用消防水積算流量	1	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	ろ過タンク水位	2	2	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	AM用消防水積算流量	1	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
0	0	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	
(d) 雑水を用いた可搬型大 気送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	1	炉心出口温度 (広域-高温側)	-	-	0	0	3 (全)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		3	炉心出口温度 (広域-低温側)	-	-	0	0	3 (全)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	0
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	-	-	1	1	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		2 (2)	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	-	-	1	1	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	格納容器内温度	-	-	1	1	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		4 (2)	原子炉格納容器圧力	-	-	1	1	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	格納容器圧力 (AM用)	-	-	0	0	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		2	格納容器圧力 (熱感)	-	-	0	0	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	格納容器圧力 (AM用)	-	-	0	0	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		2	格納容器圧力 (熱感)	-	-	0	0	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価							
		分類	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等	SBO					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称			計器数 ()内はPAM	直後	A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
(d) 海水を用いた可搬大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。			
			格納容器水位	1	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。			
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	1	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			補助給水レベル水位	2 (2)	—	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)	1	—	—	—	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)	1	1	1	0	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	—	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1		水源である燃料取替用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			補助給水レベル水位	2 (2)	0	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1		水源である燃料取替用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO	
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	—	—	2	1	1	—	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	4	1	1	—	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内温度	2 (2)	—	—	2	1	1	—	2 (2)	2	1	1	原子炉格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	4	1	1	—	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	—	—	2	0	0	—	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器内温度	2 (2)	—	—	2	2	2	—	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO									
					A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合			A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合											
(d) 海水を用いた可搬型大 型送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 への注水量	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	-	-	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。								
														原子炉下部キャビティ水位	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。				
														格納容器水位	1	0	格納容器水位	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	
														燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	-	2 (2)	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。
														補助給水ピット水位	2 (2)	1	-	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。
														B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量(AM用)	1	0	-	1	0	0	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。
														代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	0	-	1	0	0	格納容器再循環サンプ水位(広域)に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。
														格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	-	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。
														燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	-	2 (2)	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。
														補助給水ピット水位	2 (2)	1	-	2 (2)	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。
原子炉格納容器 への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	0	-	-	-	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	0	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。									
													格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。				
													燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。				

全: オブジェクトのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	SBO		
(6) 代替給水セットを水源 とした可搬型大型送水ポンプ 車による原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1 * 1	0	-	-	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) 1 炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)					2 (2)	2	1	1	1次冷却材温度 (広域-低温側) 1 炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	-	-	4 (2)	4	1	1	格納容器内高レンジェリアモニ タ (高レンジ) モニタリングポスト モニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを監視可能。	
		原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	-	-	2	2	2	0	格納容器内高レンジェリアモニ タ (低レンジ) モニタリングステーション 格納容器内高レンジェリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを監視可能。	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	4	1	1	-	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器 圧力 (監視) により原子炉格納容器 圧力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	0	-	-	4 (2)	4	1	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器 圧力 (監視) により原子炉格納容器 圧力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	0	-	-	2 (2)	2	1	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器 圧力 (監視) により原子炉格納容器 圧力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	0	-	-	2 (2)	2	1	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器 圧力 (監視) により原子炉格納容器 圧力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	B:交流電源を 延命した場合				
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要ハタ メータにて 確認。	
		原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
		格納容器水位	1	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	0	0	監視事項は 主要ハタ メータにて 確認。		
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ弁出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
		補助給水ピット水位	2 (2)	—	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
		B-1格納容器スプレイ弁出口積算流量 (AM田)	1	—	—	—	B-1格納容器スプレイ弁出口積算流量 (AM田)	1	1	0	0	0	監視事項は 主要ハタ メータにて 確認。		
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	0	監視事項は 主要ハタ メータにて 確認。		
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
		補助給水ピット水位	2 (2)	0	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	1		監視事項は 主要ハタ メータにて 確認。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称		直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	格納容器内温度	—	—	—	2	1	1	4	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	—	4	1	1	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	2	格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	2	0	0	2	2	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	—	4	1	1	4	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響		計器名称等	SBO				
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合						
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位 操作	原子炉格納容器	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (広域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			格納容器水位	1	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			燃料取替用水ピット水位	2	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2	1	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			補助給水ピット水位	2	1	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	—	—	—	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	0	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	1	0	0		水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	1	1	1	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。
			燃料取替用水ピット水位	2	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2	1	1	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
			補助給水ピット水位	2	1	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			燃料取替用水ピット水位	2	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2	1	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
			補助給水ピット水位	2	1	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
(f) 原水槽を水源とした可 搬型大型排水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1 * 1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)					1次冷却材温度 (広域-低温)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-高温)により 炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	1	1	-	-	格納容器内高レンジエリ アモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	-	-	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器内高レンジエリ アモニタ (低レンジ) 及び モニタリングポスト モニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを監視可能。	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の温度	4 (2)	4	1	-	-	格納容器内高温度	2 (2)	2	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	0	-	-	原子炉格納容器圧力 (AM用)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
		原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の温度	2	2	0	-	-	格納容器内高温度	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	4	1	-	-	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (監視) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
								格納容器内高温度	2 (2)	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価																																																																																																																																																																																																																
		分類	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPM	計器名称	SBO影響		計器故障等	SBO																																																																																																																																																																																																														
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合																																																																																																																																																																																																																
(1) 原水槽を水源とした可 搬型大型注水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	判断 基準	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	-	-	-	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																																																																																																																																													
																原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	-	-	-	-	1	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																														
																															格納容器水位	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																															
																																														燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	燃料取替用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																
																																																													補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																
																																																																													B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																
																																																																																													代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																
																																																																																																													燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	燃料取替用水レベル水位 及び補助給水レベル水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	-	-	-	-	-	-																																																																																																
																																																																																																																													補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																															
																																																																																																																																														格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	-	-	-	-	-	-	-																																																														
																																																																																																																																																															原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	4	1	-	-	-	-	4	原子炉格納容器圧力 格納容器内温度	-	-	-	-	-	-	-	-																																												
																																																																																																																																																																																	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	1	-	-	-	-	-	2	格納容器圧力 (AM用)	-	-	-	-	-	-	-	-																										
																																																																																																																																																																																																			原子炉格納容器圧力 (狭域)	1	0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-									
格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	格納容器内温度 格納容器圧力 (AM用)	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																					-	-							
																原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	1	-	-	-	-	-	4	原子炉格納容器圧力 格納容器内温度	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																								-	-	-				
																															格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												-	-	-	
																																														格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	格納容器内温度 格納容器圧力 (AM用)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																-
																																																													原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	1	-	-	-	-	-	4	原子炉格納容器圧力 格納容器内温度	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																
																																																																													格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																
																																																																																													格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	格納容器内温度 格納容器圧力 (AM用)	-	-	-	-	-	-																																																																																																																
																																																																																																													原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	1	-	-	-	-	-	4	原子炉格納容器圧力 格納容器内温度	-	-	-	-	-	-																																																																																																
																																																																																																																													格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																															
																																																																																																																																														格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	格納容器内温度 格納容器圧力 (AM用)	-	-	-	-	-	-	-																																																														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	SBO										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:交流電源を 延命した場合			直後									
														直後								
(f) 原水槽を水源とした可 搬型大流量送水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 への注水量	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	-	-	-	-	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	-	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
																	原子炉下部キャビティ水位	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	
																	格納容器水位	1	1	0	格納容器水位	
																	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。
																	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。
																	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量(AM用)	1	1	1	0	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。
																	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量
																	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。
																	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。
																	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。
原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	2 次系純水タンク水位	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	-	-	-	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。							
																2 次系純水タンク水位	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。		
																ろ過水タンク水位	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
水源の確保	2 次系純水タンク水位	ろ過水タンク水位	-	2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
																1, 2号中央制御室に設置						

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	
1.8.2.1 原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却のための対応手順 (2) 全交流動力電源又は原子炉機械冷却機能喪失時の手順 ※、原子炉格納容器下部への注水 判断基準 (a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	炉心出口温度	②	—	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の水位	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	①	—	2 (2)	1次冷却材温度 (広域-低圧側)	3 (全)	3 (全)	3	1次冷却材温度 (広域-低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		1	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	—	—	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2 (2)	1	測定範囲内であれば運転的な変動が大きい格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	燃料取替用水ピット水位	①	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2 (2)	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水装置等より格納容器スプレイポンプ出口流量計重量 (適用)、代替格納容器スプレイポンプ出口流量計重量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	①	—	2 (2)	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) との相関係数により格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	燃料取替用水ピット水位	①	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2 (2)	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが発生しているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	補助給水ピット水位	①	—	2 (2)	補助給水ピット水位	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	水源の確保	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	①	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	補助給水ピット水位	①	—	2 (2)	補助給水ピット水位	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器状態等	SBO
					直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合					直後	A直前電源を 延命した場合		
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 下部への注水	電源	電源	注時線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	注時線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	0	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価
		抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉圧力容器内の圧力	2 (2)	1	①	4	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力(広域)の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	
		1次冷却材圧力(広域)	1	—	3 (3)	3 (全)	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度(広域-高温側)により1次冷却材圧力(広域)の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	1	①	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	
		加圧器水位	1	—	サブクール度、1次冷却材圧力(広域)及び1次冷却材温度(広域-高温側)により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することとで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。			
	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	1	①	4	1	格納容器圧力/圧力の関係をを利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	
		格納容器内温度	1	—	格納容器圧力 (AM用)	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
	原子炉格納容器内の圧力	4 (2)	1	①	2	2	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	
		原子炉格納容器圧力	1	—	格納容器内温度	2	1	格納容器内温度により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
	原子炉格納容器内の圧力	2	2	①	4	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力(熱感)により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	
		格納容器圧力 (AM用)	0	—	格納容器内温度	1	0	格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
	原子炉格納容器内の圧力	2	2	①	2	2	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	
		格納容器内温度	1	—	格納容器圧力 (熱感)	1	0	格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
原子炉格納容器内の圧力	2	2	①	2	1	格納容器内温度により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。		
	格納容器内温度	1	—	格納容器圧力 (熱感)	1	0	格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	
原子炉格納容器内の圧力	2	2	①	2	1	格納容器内温度により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。		
	格納容器内温度	1	—	格納容器圧力 (熱感)	1	0	格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価									
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響											
							直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合										
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 下部への注水	操作	原子炉格納容器 内の圧力	格納容器内圧力 (AM用)	3 (3)	蒸気発生器水位 (広域)	①	—	3 (3)	1 (B)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	計測範囲内であれば蒸気発生器水位 (狭域) により蒸気発生器水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
				3 (3)	蒸気発生器水位 (広域)	①	—	3 (全)	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温度)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)		1次冷却材温度 (広域-低温度)、1次冷却材温度 (広域-高温度) の変化を相対監視することにより、蒸気発生器水位 (広域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
				1.2 (6)	蒸気発生器水位 (狭域)	①	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-高温度)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)		1次冷却材温度 (広域-高温度) の変化を相対監視することにより、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
				3 (3)	補助給水流量	①	—	3 (全)	1 (B)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	補助給水レベル	2 (2)	2 (1)	1 (1)	1 (1)		水漏である補助給水レベル水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
				2 (2)	原子炉格納容器内温度	①	—	2 (2)	1 (1)	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)		1 (1)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
				4 (2)	原子炉格納容器内圧力	①	—	4 (2)	1 (1)	1 (1)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)		3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
				2 (2)	原子炉格納容器内温度	①	—	2 (2)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	4 (2)	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)		1 (1)	原子炉格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。
				4 (2)	原子炉格納容器内圧力	①	—	4 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	格納容器圧力 (狭域)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
				2 (2)	原子炉格納容器内圧力	①	—	2 (2)	2 (2)	0 (0)	4 (2)	4 (2)	原子炉格納容器圧力	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)		1 (1)	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
				2 (2)	原子炉格納容器内温度	①	—	2 (2)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)		1 (1)	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A,B,C：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO	
					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	B直流電源を 延命した場合			
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サブ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サブ水位 (広域)	2 (2)	1	1	0	0	測定範囲内であれば連続的な監視が できる格納容器再循環サブ水位(狭 域)により格納容器再循環サブ水位 (広域)の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サブ水位 (広域)の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	0	
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1	1	
			B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	0	
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	0	
			格納容器再循環サブ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サブ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	1	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	1	
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1	1	
			B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	0	
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	0	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等	SBO					
			計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補償パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM			A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合			
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	燃料取捨用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取捨用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			燃料取捨用水レベル水位	2 (2)	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	水源地確保	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	2 (2)	2	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位 (広域) により燃料取捨用水レベル水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により補助給水レベル水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
補機監視機能	—	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口圧力	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:電源電圧を 延命した場合 直後	1 1 * 1	0	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:電源電圧を 延命した場合 直後	3 3 (全)	0	
(b) B-格納容器スプレ イホンプ (口圧冷却) による原 子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内の温度	1	1 * 1	0	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)			1次冷却材温度 (広域-低温 側)	3 (3)	0 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	1	1	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2 (2)	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	モニタリングポスト	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	1	1	モニタリングポスト	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	モニタリングポスト	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	1	1	モニタリングポスト	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	モニタリングポスト	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	1	1	モニタリングポスト	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	モニタリングポスト	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	

* 1 : 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(0,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合
(b) B-格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容 器への注水量	原子炉格納容器 下部への注水量	1	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		代替格納容器スプレイポンプ 出口流量	1	0	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	
	原子炉格納容 器内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の圧力	2	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	2	1	1	
水源の確保	水源の確保	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器圧力 (AM用)	2	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	1	
		格納容器圧力 (狭域)	2	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	1	1	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
(b) B-体格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器下部への注水	電源		計器名称	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SBO		
			注時線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	-	-	-	-			-	-
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	-	-	-	-			-	-
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	-	-	-	-			-	-
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	-	-	-	-			-	-
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	-	-	-	-			-	-
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	-	-	-	-			-	-
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	0	0	-	-	-	-			-	-
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	-	-	-	-			-	-
			抽機監視機能											

全: オブジェクトのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価						
		抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	B直流電源を 延命した場合							
(b) B-格納容器スプレ イポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容 器内の温度	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器内温度 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
		原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	2	2	2	0	原子炉格納容器内温度 の代替監視可能。				
	原子炉格納容 器内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	1	1	2	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		原子炉格納容器 内の圧力	2 (2)	2	0	4 (2)	4	1	1	1	原子炉格納容器内温度 の代替監視可能。			
	操 作	原子炉格納容 器内の水位	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	2	2	2	1	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (監視) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器内温度	2 (2)	2	1	2	2	2	1	1	格納容器内温度により格納容器圧力 の代替監視可能。		
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	2	2	2	2	1	1		測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	1	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			格納容器水位	1	1	1	1	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	2	2	2	2	1	1		水筒である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイポンプ出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。

全: オブジェクトのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称等	SBO	
					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合			
(b) B-1格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	原子炉下部キャピタリ水位	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は、主要パラメータにて確認。 監視事項は、主要パラメータにて確認。 監視事項は、主要パラメータにて確認。
			B-1格納容器スプレイ流量	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
			B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	0	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
			B-1格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	
			B-1格納容器スプレイポンプ	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
			B-1格納容器スプレイポンプ	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
			B-1格納容器スプレイポンプ	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
			B-1格納容器スプレイポンプ	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
			B-1格納容器スプレイポンプ	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
			B-1格納容器スプレイポンプ	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
水源の確保			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	0	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は、主要パラメータにて確認。 監視事項は、主要パラメータにて確認。
			格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	1	0	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	1	炉心出口温度	—	—	—	0	0	3	炉心出口温度 (広域—高温側)	3	3 (全)	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	格納容器内高レンジェリアモニタ (高レンジ)	—	—	—	1	1	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側)により炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の放射線量率	2	格納容器内高レンジェリアモニタ (高レンジ)	—	—	—	1	1	2	格納容器内高レンジェリアモニタ (低レンジ)	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	格納容器内高レンジェリアモニタ (低レンジ)	—	—	—	2	2	7	モニタリングポスト	7	7	0	0	格納容器内高レンジェリアモニタ及びモニタリングポストの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
	原子炉格納容器内の温度	2	格納容器内温度	—	—	—	1	1	4	原子炉格納容器圧力	4	4	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。
		2	格納容器内温度	—	—	—	2	2	2	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器内温度/圧力の関係をj用して格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の圧力	4	原子炉格納容器圧力	—	—	—	1	1	4	格納容器圧力 (AM用)	4	4	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
		2	格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	2	2	2	格納容器内温度	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj用して格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の圧力	2	原子炉格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	0	0	4	原子炉格納容器圧力 (監視)	4	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		2	原子炉格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	2	2	2	格納容器内温度	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj用して格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ					評価						
			抽出パラメータを計測する計器		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
(c) 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が できる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
							原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0			
							格納容器水位	1	1	0	0			
							燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1			
							補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1			
							B-格納容器スプレッド加器 出口積算流量 (AM田)	1	1	0	0			
							代替格納容器スプレッド加器 出口積算流量	1	1	0	0			
							水源である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算流量であ るB-格納容器スプレッド加器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ ッド加器出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	2 (2)	2	1	1			
							燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1			
							補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1			

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	計器名称	計器数 ()内はDPM	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合					直後	A直前電源を 延命した場合			B直前電源を 延命した場合	
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口種別流量	1	1	0	—	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	1	1	—	水源である燃料取扱用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		ろ過水タンク水位	2	0	0	—	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	1	1	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口流量の代替監視可能。	—		
		電源	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	補機並出機器	原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	溶融炉心冷却水供給母管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉格納容器冷却水供給母管流量 (M用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉格納容器冷却水冷却器補機冷却水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉格納容器冷却水冷却器補機冷却水流量 (M用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉格納容器冷却水冷却器補機冷却水流量 (M用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉格納容器冷却水冷却器補機冷却水流量 (M用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉格納容器冷却水冷却器補機冷却水流量 (M用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
操作	1.8.2.1(d) a, (c) ii. と同様。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電流がなく起動できないため除く。																

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
(d) 雑水を用いた可搬型大 気送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉圧力容器 初心出口温度	1	1	1*1	0	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側)に よ り初心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	0	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側)に よ り初心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	モニタリングタポスト	7	7	0	0	格納容器内高レンジエリアモニ タ及びモニタリングタポスト及 びモニタリングタポストの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを監視可能。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	—	—	モニタリングタポスト	1	1	0	0	格納容器内高レンジエリアモニ タ及びモニタリングタポストの指示 の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを監視可能。
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	2	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度 の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (熱域) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	2	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (熱域)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温 度の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	2	—	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	2	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (熱域) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響		パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響		計器故障等	SBO	
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					直後	直後			A直流電源を 延命した場合
(d) 海水を用いた可搬型大 型送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	判 断 基 準	原子炉格納容 器内の水位	格納容器下部 (広域)	格納容器下部監視サンプ水位	2 (2)	格納容器下部監視サンプ水位 (広域)	2	1	2	1	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器下部監視サンプ水位(狭 域)により格納容器下部監視サンプ水位 (広域)の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器下部監視サンプ水位 (広域)の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	SBO
							1	0	1	0	1	0			
							1	1	1	1	1	0			
							2	1	2	1	2	1			
							2	1	2	1	2	1			
							1	1	1	1	1	0			
							1	1	1	1	1	0			
							1	1	1	1	1	0			

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器候補等	SBO		
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	B直流電源を 延命した場合				
(d) 海水を用いた四機炉大 型送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 への注水量	B-格納容器スプレイト流量	1	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	水源である燃料取扱用ピット水位の 傾向監視によりB-格納容器スプレイト 流量の代替監視可能。 格納容器再循環ポンプ水位 (圧城) の 水位変化によりB-格納容器スプレイト 流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			1	1	0	0	0	0	0	2	2	1	1			
	電源	燃料取扱用ピット水位	B-格納容器再循環ポンプ水位 (圧城)	1	1	0	0	0	0	0	2	2	1	1	水源である燃料取扱用ピット水位 の傾向監視によりB-格納容器スプレ イト流量の代替監視可能。 格納容器再循環ポンプ水位 (圧城) の 水位変化によりB-格納容器スプレイト 流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			燃料取扱用ピット水位	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	補機冷却設備	原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AMH)	2	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0		
	操作	1.8.2.1.(f) a, (d) ii...と同様。	補機冷却設備	原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	0	0	0	4	4	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
				原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AMH)	4	4	0	0	0	0	4	4	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
(6) 代替給水セットを水源 とした可搬型大型送水ポンプ 車による原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の温度	1	1	1*1	0	—	—	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) 炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
		2	2	1	1	—	—	—	3	3	0	3 (全)		1次冷却材温度 (広域—低温側) 炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		7	7	0	0	—	—	—	7	7	0	0	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ) 及びモニタリングポスト の指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。		
	原子炉格納容器 内の温度	2	2	1	1	—	—	—	4	4	1	1	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		2	2	1	1	—	—	—	2	2	0	0	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)		
	原子炉格納容器 内の圧力	4	4	1	1	—	—	—	2	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	2	0	0	—	—	—	1	1	0	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	0	—	—	—	4	4	1	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	2	0	0	—	—	—	2	2	1	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ					計器数 ()内はPAM	計器名称	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータの代替パラメータを評価する計器			評価	SBO		
			パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータ 分類理由	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
				パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由													
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	1	1	2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (広域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。 水源である燃料取扱用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
				1	0	0	1	0	0	0	0							
				2	1	1	2	1	1	1	1	1						
				2	1	1	2	1	1	1	1	1						
				1	1	1	1	1	1	1	1	1						
				1	1	1	1	1	1	1	1	1						
				1	1	1	1	1	1	1	1	1						

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		SBO	
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	B直流電源を 延命した場合		
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	B-1格納容器スプレイ流量	1	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	0	—	—	燃料容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			注線1 L電圧, 2 L電圧	2	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			後志幹線1 L電圧, 2 L電圧	2	0	0	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AMH)	2	2	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AMH)	4	4	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。				
操作	L.8.2.1(1)a, (e) B, Eと同様。													

全: すべてのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
(f) 原水槽を水源とした可 搬型大型排水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	1	炉心出口温度 炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	3 (3)	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		3	1次冷却材温度 (広域—低 温側)	—	—	—	—	—	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	—	—	—	—	—	—	—	2 (2)	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2 (2)	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		7	モニタリングポスト	—	—	—	—	—	—	—	7	モニタリングポスト	7	7	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	2 (2)	格納容器内温度	2 (2)	2 (2)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	4 (2)	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4 (2)	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	—	—	—	—	2	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		2	格納容器圧力 (熱駆)	—	—	—	—	—	—	—	2	格納容器圧力 (熱駆)	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	—	—	—	—	2	格納容器圧力 (AM用)	2	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		4	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	4	原子炉格納容器圧力 (熱駆)	4	4	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価								
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響		計器故障等	SBO							
							A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合									
(1) 圧水槽を水源とした可 搬型大容量送水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への圧水	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 内の水位	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	-	-	1	2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	測定範囲内であれば連続的な変動がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
															1	0	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。
															2 (2)	2 (2)	1	1	水筒である燃料取扱用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
															1	0	1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
															1	0	1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
1	0	1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。															
					1	0	1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。										

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを評価する計器				評価				
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器候補等	SBO	
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	B直流電源を 延命した場合			
(C) 原水槽を水源とした可 搬型大流量送水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	B-格納容器スプレイ流量	1	0	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位の 傾向監視によりB-格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	0	-	-	燃料容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化によりB-格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位 の傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			電源	2	0	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			母線電圧	4	0	0	-	-	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB-格納容器スプレイ 冷却器出口積算流量 (AMH) の代替監 視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AMH)	2	2	0	-	-	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AMH)	4	4	4	0	-	-	-	-	-	-	-	-
操作	1.8.2.1(f) a, (f) h, i と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合		
(a) 高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉冷却への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて高認。
		原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	①	—	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて高認。
		燃料取扱用水ピペット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	—	2 (2)	2	1	0	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングポストの指示のメータにて上昇を傾向監視により炉心温度の監視が生じているか否かを推定可能。

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(0,0): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価						
		抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPJM	直後	SSO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPJM	直後	SSO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合							
(a) 高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉格納器への注水	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側)により炉心出口温度の代替監視可能。 1次冷却材温度 (広域-低温側)により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		加圧器水位	4 (2)	1	1	①	—	原子炉容器水位 サブクール度 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	1 1 2 3 (全)	1 0 1 3 (全)	0 0 1 0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。 サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)及び1次冷却材温度 (広域-高温側)により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視することとで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	—	—	—	—	—	加圧器水位 サブクール度	4 (2)	1 0	1 0	1 0	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉容器水位	1	1	0	①	—	原子炉容器水位	2 (2)	1 1	1 0	1 0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側)及び1次冷却材温度 (広域-低温側)により原子炉圧力容器内のサブクール状態の過熱状態かを監視することとで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	高圧注入流量	高圧注入流量	2 (2)	1	1	①	—	燃料取扱替用水ヒット水位 加圧器水位 原子炉容器水位	2 4 1	2 4 1	1 1 0	1 1 0	水源である燃料取扱替用水ヒット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器への注水量	2 (2)	1	1	①	—	燃料取扱替用水ヒット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 4 2 2	2 4 1 1	1 1 1 1	1 1 0 1	水源である燃料取扱替用水ヒット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	低圧注入流量	低圧注入流量	2 (2)	1	1	①	—	燃料取扱替用水ヒット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 4 1 2	2 4 1 1	1 1 0 1	1 1 0 1	水源である燃料取扱替用水ヒット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	①	—	燃料取扱替用水ヒット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 4 1 2	2 4 1 1	1 1 0 1	1 1 0 1	水源である燃料取扱替用水ヒット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

* 1: 常用系から機軸を変更することで通常と同じ59点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器数 ()内はPAM	SBO影響			
									直後	A直前電源を 延命した場合		直後	A直前電源を 延命した場合		
(a) 高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	高圧注入ポンプ出口圧力		2	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
	補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
		余熱除去ポンプ電流	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
操作	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2	1	1	①	—	格納容器再循環タンク水位 (広域)	2	2	2	1	1	1	注水先である格納容器再循環タンク水位 (広域) により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。
			(2)	2	2	①	—	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	1	0	E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、格納容器スプレイ流量、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定可能。	
			2	2	2	①	—	格納容器スプレイ流量	2	2	2	0	0		
			2	2	2	①	—	高圧注入流量	2	2	2	1	1		
			2	2	2	①	—	低圧注入流量	2	2	2	1	1		
2	2	2	①	—	充てん流量	1	1	1	0	0					
(b) 充てんポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1*1	0	②	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	1	0	1 次冷却材温度 (広域-高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	
			1	1	0	②	—	1 次冷却材温度 (広域-高圧側)	3	3	3	3	0		
			1	1	0	②	—	1 次冷却材温度 (広域-低圧側)	3	3	3	0	3		
原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングガスアースアロンの指示と上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	
			2	1	1	①	—	モニタリングポスト	7	7	7	0	0		
			2	1	1	①	—	モニタリングガスアロンの指示	1	1	1	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO		
			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	
(b) 承てんポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の水位 判断基準	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			サブクール度	1	0	0	—	サブクール度	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域-高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。				
			1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	1	1	1			
			1次冷却材温度（広域-高温側）	3 (3)	3	3	3	—	1次冷却材温度（広域-高温側）	3 (3)	3	3	0			
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	
			サブクール度	1	1	0	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0		
			1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	①	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力（広域）、炉心出口温度、1次冷却材温度（広域-高温側）及び1次冷却材温度（広域-低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			炉心出口温度	3 (3)	3	3	3	—	—	炉心出口温度	3 (3)	3	3	0		
			1次冷却材温度（広域-高温側）	3 (3)	3	3	3	—	—	1次冷却材温度（広域-高温側）	3 (3)	3	3	0		
			1次冷却材温度（広域-低温側）	3 (3)	3	3	3	—	—	1次冷却材温度（広域-低温側）	3 (3)	3	3	0		
水脈の確保	燃料冷却器用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—		

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	SBO	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	直流電源を 延命した場合	ハラムメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後			B:直流電源を 延命した場合
(b) 承てんポンプによる原子炉格納容器への注水	原子炉格納容器への注水量	高圧注入流量	2 (2)	1	1	①	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	1	1	燃料取扱用水レベル水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		低圧注入流量	2 (2)	1	1	①	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	1	1	燃料取扱用水レベル水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	①	—	原子炉格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	1	1	原子炉格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	①	—	原子炉格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	原子炉格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	補機監視機能	高圧注入ポンプ出口圧力	2	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。												

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
(c) B-格納容器スプレイングポンプ (WRBS-CSS連絡ライン使用) による原子炉格納器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて確認。
		2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアロニータ (高レンジ)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 格納容器内高レンジエアロニータ (低レンジ) 及びモニタリングポストの指示により炉心温度の恐れが生じているかを推定可能。
	原子炉格納容器内の放射線量率	4 (2)	4	1	1	①	—	加圧器水位	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0	計測範囲内であれば原子炉格納器水位により加圧器水位の代替監視可能。 サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉格納器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することにより、原子炉格納器内の水位の代替監視可能。
		1	1	1	0	①	—	原子炉格納器水位	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉格納器内の水位の代替監視可能。
	原子炉圧力容器内の水位	1	1	0	0	②	—	燃料取排水レベル水位	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	加圧器水位の傾向監視により炉心流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により炉心流量の代替監視可能。
		1	1	0	0	②	—	原子炉格納器への注水量	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0	原子炉格納器水位の傾向監視により炉心流量の代替監視可能。 燃料取排水レベル水位 (広域) の傾向監視により炉心流量の代替監視可能。

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
A(0,0): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後		B直流電源を 延命した場合	
(c) B-格納容器スプレイ ポンプ (RRBS-CSS連絡ライン 使用) による原子炉容器への 注水	水源の確保	燃料冷却用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	—	—	—	—	—	計器故障等	SBO
	補機監視機能	充てんライン圧力	1	0	0	③	B-充てんポンプの運 転状態を確認するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—
操 作		「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) b, (a) 「B-格納容器スプレイポンプ (RRBS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。												

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
(d) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉容器への 注水	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1*1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により 炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		2	1	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により 炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	1	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモニ タ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを監視可能。 監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。	
		4 (2)	4	1	1	①	—	モニタリングポスト モニタリングステーション	1	1	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを監視可能。	
	原子炉圧力容器 内の水位	4 (2)	4	1	1	①	—	加圧器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位に より加圧器水位の代替監視可能。 監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。	
		1	1	1	0	①	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉容器水位の代替監視可能。	
	原子炉圧力容器 内の水位	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温 側) により原子炉圧力容器内のサブ クール状態が過熱状態かを監視するこ とで、原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。
			3 (3)	3	3	3	①	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材温度 (広域—高温側) により 原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。
		4 (2)	4	4	1	1	①	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉容器水位の代替監視可能。
		1	1	0	0	①	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。	
2 (2)		2	1	1	①	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。		
1		1	1	0	①	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	1 1*1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。	
1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3	3	3	①	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により 原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。	
	3 (3)	3	3	3	①	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—低温側) により 原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。	
1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	3	3	3	①	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—低温側) により 原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。	
	3 (3)	3	3	3	①	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—低温側) により 原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	SBO			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器故障等		
(d) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉容器への 注水	判断基準	原子炉格納容器 への注水量	B-1格納容器スプレイ流量	1	0	②	—	燃料冷却用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	大減である燃料冷却用水ピット水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMU)	1	1	①	—	燃料容器再循環サンプ水位 (圧縮)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の 水位変化によりB-1格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。		
			燃料冷却用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	燃料冷却用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1		大減である燃料冷却用水ピット水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替 監視可能。
			補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1		加圧器水位の傾向監視によりB-1格納 容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM U) の代替監視可能。
水源の確保	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) b. (b) (代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水) の操作手順と同様である。	燃料冷却用水ピット水位	2 (2)	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視によりB-1 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	①	—	燃料容器再循環サンプ水位 (圧縮)	2 (2)	2	1	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の 傾向監視によりB-1格納容器スプレイ 冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監 視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合					
(e) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプ による原子炉格納容器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。					
		2 (2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2 (2)	1	1	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。					
	原子炉格納容器 内の放射線量率	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	7	7	0	0	モニタリングタポスト モニタリングタポスト	7 (3)	7 (全)	0	0	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングタポスト及びモニタリングタポストの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		1	1	0	0	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。				
	原子炉圧力容器 内の水位	4 (2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	1	1	0	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。				
		1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。				
		1	1	1	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。				
		1	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。				
		3 (3)	3	3	0	—	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	0	炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。				
		3 (3)	3	3	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3	3	0	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。			

*1: 常用系から機軸を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: オブベットのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		分類	計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合		
(e) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	—	燃料取扱用水レベル水位 補助給水レベル水位 加圧器水位	2 (2) 2 (2)	2 1 1	1 1 1	水漏である燃料取扱用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		水源の確保	ろ過タンク水位	2	0	—	—	—	原子炉格納容器水位 格納容器再循環タンク水位 (広域)	1 2 (2)	1 2 1	0 1 1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 原子炉格納容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 格納容器再循環タンク水位(広域)の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
操作													

「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低下時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器への注水」の操作手順と同様である。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	1	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	—	—	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		4 (2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定可能。ここで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	
		—	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—	
		1	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		—	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	—	
		3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	
3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。		

*1: 常用系から機軸を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		SBO影響
(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	1	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 判断。
								2	2	1	1	1	
								4 (2)	4	1	1	1	
								1	1	1	0	0	
操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(i) b, (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水」の操作手順と同様である。		2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)				2	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 判断。
								2	2	1	1	1	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合
(d) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側) 炉心出口温度	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンンジエリアモニタ (高レンンジ) モニタリングタポスト	2 (2)	7	0	0	1次冷却材温度 (広域—低温側) 格納容器内高レンンジエリアモニタ (低レンンジ) モニタリングタポストにより炉心温度の監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉容器水位 サブクール度	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		1	1	1	0	—	—	原子炉容器水位 サブクール度 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域—高温側)	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常川系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて 図解。
									補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	
									原子炉容器水位	1	1	1	0	
操作	[1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等]のうち、1.4.2.1(f) b, (e) [代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水]の操作手順と同様である。	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。							

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源電源を 延命した場合	B電源電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電源を 延命した場合		B電源電源を 延命した場合
(b) 取水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		2 (2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側) 格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉圧力容器 内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ) モニタリングポスト	2 (2)	7	0	0	格納容器内高レンジエリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		4 (2)	4	1	1	—	—	モニタリングステーション 原子炉容器水位	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位に より加圧器水位の代替監視可能。
原子炉圧力容器 内の水位	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温 側) により原子炉圧力容器内のサブ クール状態が過熱状態かを監視するこ とで、原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。
		3 (3)	3	3	3	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉容器水位の代替監視可能。
	原子炉圧力容器 内の水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
(b) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	判 断 基 準	原子炉格納容器 への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 判断。 監視事項は 主要パラ メータにて 判断。
								補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	
								加圧器水位	4 (2)	4	1	1	
								原子炉容器水位	1	1	1	0	
操 作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(i) b. (f)	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。					

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価									
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響		SBO									
									直後	A直後電源を 延命した場合		直後	A直後電源を 延命した場合							
(a) 代替格納容器スプレッドポンプによる原子炉容器への注水	1.8.2 溶融炉心の原子炉格納容器下部への減下凍結・防止のための対応手順 (2) 全交流動力喪失又は原子炉機械冷却能力喪失時の手順 * 原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	②	0	1 * 1	1	1	1 * 1	0	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。				
											1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	3	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。					
											原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。				
											サブクール度	4 (2)	1	4	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態の過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。			
											1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	2	1	1	0			
											1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3	3	3 (全)	0			
											加圧器水位	4 (2)	4	4	1	1	1		計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	
											サブクール度	1	1	1	0	0	0			
											1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	2	1	1	1		サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側) 及び1次冷却材温度 (広域-低温側) により原子炉圧力容器内の過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
											炉心出口温度	1	1	1	0	0	0			
原子炉格納容器内の水位	①	-	-	-	-	-	-	-	-	格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2 (2)	1	1	格納容器内高レンジエアリアモニタ並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。				
										燃料冷却水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	0				
										補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	0				
										原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	2	1	1	0				
										燃料冷却水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	0				
										補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	0				
										原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	2	1	1	0				
										燃料冷却水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	0				
										補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	0				
										原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	2	1	1	0				

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	評価		
					直後	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合	直後				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉容器への 注水	電源	電圧	注時線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	注時線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の 受電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			機 操 作	[1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低下時に発電用原子炉を冷却するための手順等]のうち、1.4.2.1(i) b, (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。													

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
(b) B-冷却ポンプ(自己循環)による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		2	2	1	1	①	—	格納容器内高レンゲンジュエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	2	1	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。		
	原子炉格納容器内の放射線量率	2	2	1	1	①	—	格納容器内高レンゲンジュエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内高レンゲンジュエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		4	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	
	原子炉圧力容器内の水位	4	4	1	1	①	—	加圧器水位	4 (2)	4	4	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態か過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		1	1	1	0	①	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。		
		2	2	1	1	①	—	サブクール度	2 (2)	2	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態か過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		3	3	3	0	①	—	原子炉容器水位	3 (3)	3	3	0	0	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	
		4	4	1	1	①	—	サブクール度	4 (2)	4	4	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態か過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		3	3	3	0	①	—	原子炉容器水位	3 (3)	3	3	0	0	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価										
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器													
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	B:交流電源を 延命した場合							
(b) B-1 充てんポンプ (自 己冷却) による原子炉容器へ の注水	水源の確保		燃料量特用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			油断線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	③	油断線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	電源		後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の 受電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧段 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	補機監視機油			原子炉補機冷却水供給管流 量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
操作																			

全: オブテのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

「1.4 原子炉冷却圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち, 1.4.2.1(2) a, (b) 「B-1 充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はDPM	直後	A直読電源を 延命した場合	B直読電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直読電源を 延命した場合		B直読電源を 延命した場合	
(c) B→格納容器スプレイポンプ(自己冷却) (RHR→CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。	
		2 (2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。	
		4 (2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	
	原子炉圧力容器内の水位	1	1	1	0	—	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。	
		2 (2)	2	1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	
	水源の確保	2 (2)	2	1	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。
		1	1	0	0	—	—	燃料取扱用水レベル	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水レベル、燃料取扱用水レベルの傾向監視により充てん流量の代替監視可能。
	原子炉格納容器への注水量	1	1	0	0	—	—	充てん流量	4 (2)	4	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		2 (2)	2	1	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から機銃を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						抽出パラメータ			抽出パラメータの代替パラメータを評価する計器			評価				
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM		SBO影響			
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(c) B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)(RIRS-SSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	電源	電源	送電線1L電圧, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線1L電圧, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AMH)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMH)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			充てムライン圧力	1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			操作																

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

「1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち, 1.4.2.1(2) a, (c) 「B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)(RIRS-SSS連絡ライン使用)」による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
(d) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	1	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	—	—	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		4 (2)	—	—	—	—	—	モニタリングポスト	7	7	0	0	モニタリングポストにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		4 (2)	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		1	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	
		—	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
原子炉圧力容器内の水位	1	1	1	0	—	—	原子炉容器水位	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	—	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		
	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		
	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価			
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
(b) デンゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	1	—	—	B—格納容器スプレイト流量	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB—格納容器スプレイト流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (圧減) の水位変化によりB—格納容器スプレイト流量の代替監視可能。	
			1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB—格納容器スプレイト流量の代替監視可能。	
			1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB—格納容器スプレイト流量の代替監視可能。	
(c) デンゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	1	—	—	B—格納容器スプレイト冷却器出口積算流量 (AM用)	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視によりB—格納容器スプレイト冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	—	—	原子炉格納容器水位	1	1	1	0	原子炉格納容器水位の傾向監視によりB—格納容器スプレイト冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	
			1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB—格納容器スプレイト流量の代替監視可能。	
			1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB—格納容器スプレイト流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称	計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
(d) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	水源の確保	ろ過水タンク水位	2	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		圧巻線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電源	電源	後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	3	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却機水流量	4	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却機水流量 (AM用)	4	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却機水流量 (AM用)	4	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却機水流量 (AM用)	4	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却機水流量 (AM用)	4	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
操作	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(i) b, (c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がな															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合	
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2 (2)	2	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	—	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	監視事項は主要パラメータにて確認。
		4 (2)	4	1	1	—	—	モニタリングポスト	7	7	0	0	モニタリングポストの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		4 (2)	4	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		4 (2)	4	1	1	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		4 (2)	4	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	
		4 (2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	
		4 (2)	4	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
原子炉圧力容器内の水位	1	1	1	0	—	—	原子炉容器水位	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	1	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	炉心出口温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		
	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		
	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から機軸を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価			
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後		SBO影響 B直流電源を 延命した場合 直後		
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	1	—	—	—	2 (2)	燃料取扱用水レベル水位	2 1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイトの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			0	—	—	—	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	2 1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の水位変化によりB-1格納容器スプレイトの代替監視可能。	
			1	—	—	—	2 (2)	燃料取扱用水レベル水位	2 1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイトの代替監視可能。	
			1	—	—	—	4 (2)	加圧器水位	4 1	1	加圧器水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイトの代替監視可能。	
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	1	—	—	—	1	原子炉格納容器スプレイト冷却器出口積算流量 (AMU)	1	0	原子炉格納容器スプレイト冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2 (2)	—	—	—	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	2 1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の傾向監視によりB-1格納容器スプレイトの代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価											
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器														
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合								
(a) 海水を用いた四線型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後送線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			判断基準	操作	[1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低下時に発電用原子炉を冷却するための手順等]のうち、1.4.2.1 (1) b, (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合
(f) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		2 (2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器水位により加圧器水位の代替監視可能。
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	4	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを推定すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉格納容器水位の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉格納容器水位の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。
		3 (3)	3	3	0	—	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	A:直流電源を 延命した場合 直後		B:直流電源を 延命した場合				
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	電源	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		抽機監視機能															
		操作															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低下時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(i) b, (g) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
(d) 取水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		2	1	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	—	—	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		4 (2)	4	1	1	—	—	モニタリングポスト モニタリングステーション	7 (3)	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位に より加圧器水位の代替監視可能。
原子炉圧力容器 内の水位	加圧器水位	1	1	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉容器水位の代替監視可能。
		4 (2)	4	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温 側) により原子炉圧力容器内のサブ クール状態が過熱状態かを監視するこ とで、原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。
	原子炉圧力容器 内の水位	1	1	1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉容器水位の代替監視可能。
		4 (2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉容器水位の代替監視可能。
原子炉圧力容器 内の水位	原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。
		2 (2)	2	1	1	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。
	原子炉圧力容器 内の水位	1	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。
		3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。
3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。	

*1: 常用系から機軸を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合								
(d) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	計器名称	補助パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	SBO影響	計器故障等	SBO		
			B-1格納容器スプレイレイ流量	-	-	-	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	0	1	1	大減である燃料取扱用水レベル水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			B-1格納容器スプレイレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	-	-	-	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	2 (2)	2	1	0	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 水位変化によりB-1格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。		
			B-1格納容器スプレイレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	-	-	-	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	0	1	1	大減である燃料取扱用水レベル水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。		
				-	-	-	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	0	1	1	加圧器水位の傾向監視によりB-1格納 容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM H) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				-	-	-	原子炉容器水位	1	1	1	1	0	0	0	原子炉容器水位の傾向監視によりB-1 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替監視可能。	
				-	-	-	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	2 (2)	2	1	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 傾向監視によりB-1格納容器スプレイ 冷却器出口積算流量 (AMH) の代替監 視可能。	
				-	-	-	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	1	大減である燃料取扱用水レベル水位及 び補助給水レベル水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	
				-	-	-	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	1		
				-	-	-	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納 容器スプレイポンプ出口積算流量の代 替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	-	-	-	原子炉容器水位	1	1	1	1	0	0	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替 格納容器スプレイポンプ出口積算流量 の代替監視可能。				
	-	-	-	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	2 (2)	2	1	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。				

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	A:直流電源を 延命した場合 直後		B:直流電源を 延命した場合					
(c) 原水槽を水源とした可 機型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		後志線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AMH)	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AMH)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AMH)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		抽機監視機能	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ 低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1 (l) b, (f) 「原水槽を水源とした可機型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	SBO影響	直後		
1.9.2.1 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (1) 炉心の著しい損傷が発生した場合の原子炉格納容器水素爆発防止	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉格納容器 内の放熱容量	1	②	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3	3	3	0	3	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
							3	3	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域—低温側)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。
a. 原子炉格納容器内水素処理装置による原子炉格納容器内の水素濃度低減	原子炉格納容器 内の放熱容量	原子炉格納容器 内の放熱容量	2 (2)	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2	2	2	1	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングシステムステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか密かに推定可能。	監視事項は
							7	7	7	0	0	0	0	
電源	電源	原子炉格納容器内水素処理装置 補機監視機器	2	③	—	A, B—直流コントロールケーブル電圧	2	2	2	1	1	1	直流母線の受電状態を監視するパラメータ	—
							5	5	5	0	0	0	0	原子炉格納容器内水素処理装置の作動状態を確認するパラメータ

全：すべてのループの計器の合計数
A(0, C)：当該ループの計器数
* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ59点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	SBO影響等				
	信号	—	RCCS作動	③	RCCS作動信号の作動状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	電源	2	1L電圧, 2L電圧	③	1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2		1L電圧, 2L電圧	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4		甲母線電圧, 乙母線電圧	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 (2)		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉圧力容器内の圧力	6	代替非常用発電機電圧, 電力, 周波数	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1		炉心出口温度	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。				
2 (2)		1次冷却材圧力 (広域)	①	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。				
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	加圧器水位	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。				
2		1次冷却材圧力 (広域)	①	—	1次冷却材圧力 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材圧力 (広域-高温側) により1次冷却材圧力 (広域-低温側) の代替監視可能。				
	原子炉圧力容器内の水位	4	加圧器水位	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。				
4		加圧器水位	①	—	サブプール水位	1	1	0	0	0	サブプール水位, 1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態を確認可能。				
	原子炉圧力容器内の水位	2	1次冷却材圧力 (広域)	①	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。				
3 (3)		1次冷却材温度 (広域-高温側)	①	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度 (広域-低温側) の代替監視可能。				

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
h. 格納容器水素イグナイターによる原子炉格納容器内の水素濃度低減	判断基準 原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器への注水量	2 (2)	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	1	4 (2)	4	1	1	2	2	1	1	0	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	4 (2)	4	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2	2	2	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
操作	電源	2	2	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	補機監視機能	13	13	13	0	0	7	7	0	0	1	1	0	0	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響 直後	SBO影響 直後	
1.9.2.1 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (2) 原子炉格納容器内の水素濃度の監視 1. 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の操作手順	原子炉圧力容器 内の温度	1	炉心出口温度	②	—	1	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	3 (全)	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
判断 基準	原子炉格納容器 内の放射線量率	2	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	①	—	2	1次冷却材温度 (広域-低 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	①	—	2	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		4 (2)	原子炉格納容器 内の放射線量率	①	—	4	モニタリングガスト	7	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		4 (2)	原子炉格納容器 内の放射線量率	①	—	4	モニタリングガスト	7	7	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
操 作	原子炉格納容器 内の圧力	2	原子炉格納容器 内の圧力	①	—	2	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 内の圧力	①	—	2	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 内の圧力	①	—	2	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 内の圧力	①	—	2	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 内の圧力	①	—	2	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
操作	原子炉格納容器 内の水素濃度	1	原子炉格納容器 内の水素濃度	①	—	1	原子炉格納容器内の水素濃 度	13	13	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		1	原子炉格納容器 内の水素濃度	①	—	1	原子炉格納容器内の水素濃 度	13	13	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		1	原子炉格納容器 内の水素濃度	①	—	1	原子炉格納容器内の水素濃 度	13	13	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		1	原子炉格納容器 内の水素濃度	①	—	1	原子炉格納容器内の水素濃 度	13	13	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		1	原子炉格納容器 内の水素濃度	①	—	1	原子炉格納容器内の水素濃 度	13	13	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

*2：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価		
		分類	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称等	SBO		
					直後	A直前電源を 延命した場合					直後	B直前電源を 延命した場合				
b. ガス分析計による原子炉格納容器内の水素濃度監視	原子炉格納容器内の温度	原子炉圧力容器	初心出口温度	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高圧側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1次冷却材温度 (広域—低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
	原子炉格納容器内の水素濃度	原子炉格納容器	格納容器内水素濃度	1	0	1 * 2	0	—	—	原子炉格納容器内水素処理装置取組温度	5	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器内水素イグナイタの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器	格納容器内水素濃度	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (検感) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
操作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	格納容器内風度	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内風度	2 (2)	2	1	1	高圧側/圧力の関係をj利用して格納容器内風度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (検感)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (検感) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器	ガス分析計による水素濃度	—	—	—	—	—	—	格納容器内風度	2 (2)	2	1	1	格納容器内風度/圧力の関係をj利用して格納容器内風度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

* 2: 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				計器数		計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直前電源を 延命した場合 B:直前電源を 延命した場合	直後	SBO影響 A:直前電源を 延命した場合 B:直前電源を 延命した場合					
1.9.2.1 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 a. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視 b. 全交直動力電源及び原子炉補機冷却機能が喪失した場合の操作手順	原子炉圧力容器内の温度		1	1	1 * 1	0	②	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側) ① 1次冷却材温度 (広域-低温側) ②	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は代替パラメータにて高麗。		
	原子炉格納容器内の放射線量率		2	2	1	1	①	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ① モニタリングポスト ② モニタリングステーション	2 (2)	2	7	0	0	監視事項は代替パラメータにて高麗。	
	電源	始動線 1 L 電圧, 2 L 電圧		2	2	0	0	③	—	—	始動線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧		2	2	0	0	③	—	—	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧		4	4	0	0	③	—	—	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧		7	7	1	1	③	—	—	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
	補機冷却機器	原子炉補機冷却水供給母管流量		3	3	0	0	③	—	—	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)		2	2	2	0	③	—	—	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量		4	4	0	0	③	—	—	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量 (AM用)		4	4	4	0	③	—	—	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—

* 1 : 常用系から稼働を変更することで通信と同じ39点を監視監視可能

全 : すべてのグループの計器の合計数

A(B,C) : 当該グループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO			
					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	B直流電源を 延命した場合					
a. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	電源	代替非常用送電機電圧、電力、周波数 A、Eー直流コントローラセ ンタ故障電圧	計器名称	6	0	6	—	—	—	—	—	—			
			パラメータ 分類	③	③	—	—	—	—	—	—	—			
			補測パラメータ 分類理由	—	代替非常用送電機電圧の運 転状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			格納容器圧力 (AM用)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。		
b. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	計器名称	4 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。		
			パラメータ 分類	①	①	—	—	—	—	—	—	—	—		
			補測パラメータ 分類理由	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
c. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	原子炉格納容器 内の水素濃度	原子炉格納容器 内の水素濃度	計器名称	1	1*1	0	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
			パラメータ 分類	①	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			補測パラメータ 分類理由	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			格納容器内水素濃度	1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電源を 延命した場合	B電源電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後			A電源電源を 延命した場合	B電源電源を 延命した場合	
b. ガス分析計による原子炉格納容器内の水素濃度監視	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて確認。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2	2	1	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	1次冷却材温度 (広域-低温度) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項はメータにて確認。
	電源	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2	2	2	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項はメータにて確認。
		格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2	2	2	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項はメータにて確認。
	補機冷却機器	原子炉格納容器冷却水供給母管流量	3	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	原子炉格納容器冷却水供給母管流量	監視事項はメータにて確認。
		原子炉格納容器冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	2	1	1	0	0	0	0	2	2	1	1	原子炉格納容器冷却水供給母管流量 (AM用)	監視事項はメータにて確認。
	補機冷却機器	原子炉格納容器冷却水供給母管流量	4	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	原子炉格納容器冷却水供給母管流量	監視事項はメータにて確認。
		原子炉格納容器冷却水供給母管流量 (AM用)	4	4	4	4	4	0	0	0	0	4	4	0	0	原子炉格納容器冷却水供給母管流量 (AM用)	監視事項はメータにて確認。

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を継続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等	SBO
					計器数 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
判断 基準 理由	原子炉格納容器 内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	1*1	0	0	-	-	-	5	5	0	-	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
b. ガス分析計による原子炉 格納容器内の水素濃度監視 操 作	電源	代替非常用送電機電圧、電 力、周波数	6	0	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	-	-	-	2	2	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	格納容器内圧度	2 (2)	2	1	1	-	-	-	2	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	-	-	-	4	4	1	1	格納容器/圧力の関係をj利用して格納 容器内圧度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の水素濃度	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	-	-	-	-	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (監視) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		ガス分析計による水素濃度	-	-	-	-	-	-	-	2 (2)	2	1	1	格納容器/圧力の関係をj利用して格納 容器内圧度により格納容器圧力 (AM 用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	計器名称	計器数 ()内はDPM	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO	
					直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合				直後	A直前電源を 延命した場合			B直前電源を 延命した場合
(a) 交流動力電源及び常設 直前電源が健全である場合の 操作手順	判 断 基 準	信号	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(a) 交流動力電源及び常設 直前電源が健全である場合の 操作手順	操 作	原子炉圧力容器 内の温度	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	②	1	1 * 1	0	—	—	—	—	—	—	—
					①	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—
(a) 交流動力電源及び常設 直前電源が健全である場合の 操作手順	操 作	原子炉格納容器 内の放射線量率	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	③	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
					②	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

1.10.2.1 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順

(1) 水素排出による原子炉建屋等の損傷防止

*. アニユラス空気浄化設備による水素排出

(a) 交流動力電源及び常設 直前電源が健全である場合の 操作手順	判 断 基 準	信号	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(a) 交流動力電源及び常設 直前電源が健全である場合の 操作手順	操 作	原子炉圧力容器 内の温度	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	②	1	1 * 1	0	—	—	—	—	—	—	—
					①	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—
(a) 交流動力電源及び常設 直前電源が健全である場合の 操作手順	操 作	原子炉格納容器 内の放射線量率	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	③	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
					②	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価									
			計器名称	計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		SBO影響		計器数 ()内はDPM	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響	SBO影響	計器名称	計器数 ()内はDPM					
									直後	A直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合												
(a) 全芯動機力電源又は常設直流電源が喪失した場合の操作手順	判断基準	電源	冷却線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	③	冷却線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	③	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			A, B 直流コントロールセクタ母線電圧	2	③	直流母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			原子炉圧力容器内の電圧	1	②	—	1 次冷却材温度 (広域-高圧側) 1 次冷却材温度 (広域-低圧側)	3 (3)	3 (3)	0	0	3 (全)	3 (全)	0	0	3 (全)	0	1 次冷却材温度 (広域-高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。 1 次冷却材温度 (広域-低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	—	—	—			
			原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2 (2)	1	1	2 (2)	2 (2)	1	1	7	0	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) モニタリングポスト モニタリングステーション	7	0	0	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示のメータにて上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	—	—
			アニュラス部の圧力	2	③	アニュラス内圧力	2	③	アニュラス空気沖化ファンの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			電源	6	③	代替非常用発電機電圧, 電力, 周波数	6	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数
A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合		B電源電圧を 延命した場合	
1.10.2.1 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順 (1) 水素検出による原子炉建屋等の損傷防止 b. アニユラス部の水素濃度監視	判別基準	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	②	—	1	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。
		原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	①	—	2	2 (2)	2	2	1	1次冷却材温度 (広域-低濃) により炉心出口温度の代替監視可能。
(a) 可搬型アニユラス水素濃度計測ユニットによる水素濃度測定	操作	アニユラス部の水素濃度	1	0	1*2	0	①	—	1	1	1	1	0	監視事項は、アニユラス水素濃度によりアニユラス水素濃度 (可搬型) の代替監視可能。
		原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。
(b) アニユラス水素濃度検出器による水素濃度測定	判別基準	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	2	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングシステムステーションの指示のメータにて上層を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
		アニユラス部の水素濃度	1	1	1	0	—	—	1	1	1	0	1*2	監視事項は、アニユラス水素濃度 (可搬型) によりアニユラス水素濃度の代替監視可能。

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数
*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
*2: 可搬型アニユラス水素濃度計測装置の取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO				
		計器数 ()内はPAM 直後	SBO影響 A直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM 直後	A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合								
a. 燃料取替用水ポンプによる 使用済燃料ピットへの注水	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	使用済燃料ピッ トの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	—	—	—	—	—	—	—	2	2	0	0	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。	
		使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	2	0	2	2	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。	
		使用済燃料ピット水位 (可 搬)	2	0	—	—	—	—	—	—	—	2	0	2	*1	0	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	2	2	0	0	0	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (可 搬)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	2	0	2	*1	0	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	2	0	2	*1	0	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。
水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。	
	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	1	0	0	0	0	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。	
	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	1	1	0	—	—	—	—	—	—	1	0	0	0	0	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。	
	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	1	1	0	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。	

全：すべてのループの計器の合計数
*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価									
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			計器数						
			計器名称	計器数 () 内はPAM 直後	SBO影響 A 直流電源を 延命した場合 B 直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM 直後	SBO影響 A 直流電源を 延命した場合 B 直流電源を 延命した場合	計器数	計器数	計器数	計器数	計器数	計器数		
a. 燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水 操作	使用済燃料ピットの監視	燃料取替用水ピット水位	使用済燃料ピット水位	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	燃料取替用水ピット水位 (AM)	2	2	1	0	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による傾向監視により水脈の有無や使用量を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器候補等	SBO	
															使用済燃料ピット温度
b. 2号系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
水源の確保	水源の確保	2号系補給水タンク水位	2	「1, 2号中央制御室に確認」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A. (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		SBO		
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合			
c. 1 5号補給水ポンプによる 使用済燃料ピットへの注水	監視監視機器	原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水源の確保	監視監視機器	使用済燃料ピット水位 (AM用)	使用済燃料ピット水位	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1次系海水タンク水位	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ交換装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合				
			使用済燃料ピット水位	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) エリアモニタ	2	2	0	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) エリアモニタ	2	0	0	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) エリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) エリアモニタ	2	0	0	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) エリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			携帯型水位計	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	1	1	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			携帯型水位計・水温計	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	1	1	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数 () 内はPAM 直後	計器数 () 内はPAM 直後	SBO影響 A 直流電圧を 延命した場合	SBO影響 B 直流電圧を 延命した場合	計器故障等	SBO	
			計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由							
c. 1 次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	水源の確保	水	1 次系補給水タンク水位	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	—	—	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピットエアモニタ	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	1	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			非気筒ガスモニタ	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	1	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	1	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ ※3	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	—	—	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ ※3	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	—	—	1	0	1	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ ※3	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	—	—	2	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ ※3	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	2	0	2	*1	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ ※3	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	—	—	2	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ ※3	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	1	0	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

* 1：計器取り付け後監視可能

* 2：試料採取に必要なサンプリング電圧が喪失するため監視不可

* 3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器		SBO				
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
d. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピケットへの注水	操作	使用済燃料ピケットの監視	使用済燃料ピケット温度	2	0	—	—	使用済燃料ピケット温度 (AM用)	2	2	0	使用済燃料ピケット温度 (AM用) により使用済燃料ピケット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピケット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピケット温度 (AM用)	2	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピケット温度により使用済燃料ピケット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			携帯型水温計	1	1	1	—	—	使用済燃料ピケット監視カメラ *1	1	0	1	0	監視により使用済燃料ピケットの状態を特定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			携帯型水温計	1	1	1	—	—	使用済燃料ピケット温度 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピケット温度 (AM用) により使用済燃料ピケット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 使用済燃料ピケット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価		
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			
d. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	—	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	0	—	—	2 * 1	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	2	0	—	2 * 1	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	2	0	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	2	0	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	2	0	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	2	0	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	2	0	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	2	0	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	2	0	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
使用済燃料ピット水位 (AM)	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	—	2	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	0	2 * 1	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	0	—	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	0	—	—	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
携帯型水位計	携帯型水位計・水温計	携帯型水位計 (AM)	1	1	1	—	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			1	1	1	—	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO				
					直後	A直流電圧を 延命した場合					直後	A直流電圧を 延命した場合						
⑤ 海水を用いた可搬型土製 淡水ポンプ車による使用済 燃料ピットへの注水	原子炉補機冷却水供給管流 量 原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用) 使用済燃料ピット温度 使用済燃料ピット温度 (AM 用) 使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピット水位 (可搬 型) 使用済燃料ピット水位 (AM 用)	原子炉補機冷却水供給管流 量 原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用) 使用済燃料ピット温度 使用済燃料ピット温度 (AM 用) 使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピット水位 (可搬 型) 使用済燃料ピット水位 (AM 用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			4	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2	0	0	②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2	2	0	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2	0	0	②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2	2	0	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2	2	0	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2	2	0	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
 *1：計器取り付け後監視可能
 *2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ											
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	事後	計器故障等	SBO
⑤、海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による使用済燃 料ピットへの注水	操 作	使用済燃料ピ ットの監視	使用済燃料ピット温度	2	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	0	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	①	—	使用済燃料ピット温度 使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。 使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 特定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			携帯型水温計	1	②	—	使用済燃料ピット監視カメラ *1	1	1	1	0	1	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 携帯型水温計の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	SBO影響			
							A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
6. 海水を用いた可搬型大型 淡水ポンプ等による使用済燃 料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット水位	2	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。		
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。		
			携帯型水位計	1	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	2	0		監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			携帯型水位計・水温計	1	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	0	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
				1	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	0	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
				1	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	0	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
				1	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	0	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		評価					
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合						
f. 代替給水ピットを水脈と した可搬型大型送水ポンプ車 による使用済燃料ピットへの 注水	判 断 基 礎	機械監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			使用済燃料ピット温度	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器			計器		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数	SBO
①、代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			携帯型水温計	1	1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *1	1	0	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を特定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			携帯型水温計	1	1	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等			SBO			
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	SBO影響 A 直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	0	監視事項は 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	監視事項は 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ および使用済燃料ピット水位の関係を 使用済燃料ピット監視カメラにより使 用済燃料ピット水位 (AM 用) の代替 監視可能。	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピ ット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピ ット水位により使用済燃料ピット水 位 (可搬型) の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	—	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニ タ および使用済燃料ピット水位の関係を 使用済燃料ピット監視カメラにより使 用済燃料ピット水位 (AM 用) の代替 監視可能。	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			携帯型水位計	1	1	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	監視事項は 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び 使用済燃料ピット水位 (可搬型) により 携帯型水位計の代替監視可能。
			携帯型水位計・水温計	1	1	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	監視事項は 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び 使用済燃料ピット水位 (可搬型) により 携帯型水位計・水温計の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ													
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合	SBO	
1. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 による使用済燃料ピットへの 注水	場 作	使用済燃料ピ ットの監視	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			排気筒ガスモニタ	2	0 * 2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	1	0	0	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット監視カメラ * 3	2	2	2	0	0	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	2	2	2	0	0	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		SBO	
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合		
④ 原水槽を水取とした可搬 門十羽送水ポンプ車による使 用済燃料ピットへの圧水	判 断 基 準	機 器 監 視 項 目	原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット温度	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全：すべてのループの計器の合計数 ＊1：計器取り付け後監視可能 ＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む A (B, C)：当該ループの計器数																		

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数		SBO			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
8. 原水罐を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			携帯型水温計	1	1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *1	1	0	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			携帯型水温計	1	1	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	直後	計器名称	計器数 () 内はPAM		直後							
<p>① 原水槽を水頭とした可搬式大型ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水</p>	<p>操作</p>	<p>使用済燃料ピットの監視</p>	使用済燃料ピット水位	2	0	2	2	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	<p>監視事項は 主要パラメータにて確認。</p>		
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	0	0		使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	0		使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	0	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0		使用済燃料ピット監視カメラ	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	0		計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	
			携帯型水位計	1	1	1	1	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	2 * 1		0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位計の代替監視可能。
			携帯型水位計・水温計	1	1	1	1	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	2	0	2 * 1		0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位計・水温計の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価					
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合							
⑤ 原水罐を水頭とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットの監視	操作	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			排気筒ガスモニタ	2	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	—	—	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピットエアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ	2	2	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)・使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			2次系純水タンク水位	2	1	2	—	—	「1, 2号中央制御室に確認」	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			ろ過水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

* 1：計器取り付け後監視可能

* 3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

* 2：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価							
			計器名称	計器数 ()内はPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器候補等	SBO				
															パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由		
1.11.2.2 使用済燃料ピットからの大気の水の漏えい発生時の対応手順 (1) 使用済燃料ピットへのスプレー a. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車及び可搬型スプレ インノスルによる使用済燃料 ピットへのスプレー	使用済燃料ピットへのスプレー	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)								使用済燃料ピット温度	2	2	0	2		使用済燃料ピット温度 (AM 用) により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)								使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0			
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)								使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	* 1		0	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)								使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	0	①	—	—	使用済燃料ピットエリアモニ タ	1	1	0	0		使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)								使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0			
								使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピッ ト水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
								使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタに 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。				

全：すべてのループの計器の合計数
A (B, C) : 当該ループの計器数
* 1 : 計器取り付け後監視可能
* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空荷監視を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響					
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合				
a. 海水を用いた可搬型大型 淡水ポンプ車及び可搬型ス レイノズンによる使用済燃料 ピットへのスプレイ	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。			
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度 *2	2	2	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。		
			使用済燃料ピット水位	2	0	②	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 判定可能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	②	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット水位 *2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニ タ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	②	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	2	2	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	②	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	2	2	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価			
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ()内はPM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPM	計器名称	SBO影響				
a. 湯水を用いた可搬型大型 湯水ポンプ車及び可搬型スプレ イノズルによる使用済燃料 ピットへのスプレー	操作	使用済燃料ピ ットの監視	1	使用済燃料ピットエアモニ タ	②	—	0	0	0	1	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ により使用済燃料ピットエアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			2	非気筒ガスモニタ	②	—	0	0	0	1	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ により使用済燃料ピットエアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			1	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	①	—	0	0	0	2	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット監視カメラ *3	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			1	使用済燃料ピット監視カメラ *3	①	—	0	1	0	2	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット水位 (可搬 型) 使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用 済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済 燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済 燃料ピット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 計器取り付け後監視可能

*2 : 試料採取に必要なサンプアラ電源が喪失するため監視不可

*3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器故障等	SBO	
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合			
b. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 及び可搬型スプレインジェルに よる使用済燃料ピットへのス プレイ	使用済燃料ピット監視 の監視	使用済燃料ピット温度	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)の代替監視可能。	2	2	0	2	使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 判定可能。	
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 判定可能。	
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	2 * 1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使 用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視 可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空命装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器故障等	SBO		
									A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合				
b. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 及び可搬型スプレインジェルに よる使用済燃料ピットへのス プレイ	操作	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット温度	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)の代替監視可能。	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 判定可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニ タ	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	2	2	0	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピッ ト水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	2	2	0	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピッ ト水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A. (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空命装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ															
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 ()内はPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器候補等	SBO		
h. 代替給水ピットを必要と した可搬型大型送水ポンプ等 及び可搬型スプレインマルに よる使用済燃料ピットへのス プレイ	操作	使用済燃料ピ ットの監視	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ により使用済燃料ピットエアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			非気筒ガスモニタ	2	0	*2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ により使用済燃料ピット の代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	1	0	0	0	使用済燃料ピット エアモニタにより使用済燃料ピット 可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット監視カメラ *3	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット監視カメラ *3	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット監視カメラ *3	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット監視カメラ *3	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット監視カメラ *3	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 計器取り付け後監視可能

*2 : 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

*3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器故障等	SBO					
									A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合							
c. 原水槽を水源とした可搬型大型ポンプ車及び可搬型スプレイン/スルによる使用済燃料ピットへのスプレー	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	使用済燃料ピット温度	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。			
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を判定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を判定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	0	2	*1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラ #2により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	0	2	*1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		SBO影響		計器故障等	SBO			
									直後	A直流電源を 延命した場合	直後	B直流電源を 延命した場合					
c. 原水槽を水源とした可搬型大型放射能ポンプ車及び可搬型スプレッド/インスルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2	*1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2	*1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価					
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					SBO影響		計器故障等	SBO		
			計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	直後	A 直流電圧を 延命した場合	B 直流電圧を 延命した場合	A 直流電圧を 延命した場合	B 直流電圧を 延命した場合						
c. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる使用済燃料ピットへのスプレイン	使用済燃料ピットの監視	電源の確保	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			非気筒ガスモニタ	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピットエアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用) による放射線量と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット監視カメラ	2	2	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用) による放射線量と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) による放射線量と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット監視カメラ	2	2	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM 用) による放射線量と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			2 次系純水タンク水位	2	「1, 2号中央制御室に確認」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：試料採取に必要なサンプアラ電源が喪失するため監視不可
 * 3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器故障等	SBO					
									直後	A直流電源を 延命した場合			直後	B直流電源を 延命した場合			
4. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び海水車による燃料取扱機 (使用済燃料ピット内の燃料体等) への放水	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	①	—	使用済燃料ピット温度 *2	2	0	2	0	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位	2	②	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	2	0	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	①	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 確認可能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	②	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	*1	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	①	—	—	使用済燃料ピット水位 *2	2	0	2	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ *2 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	②	—	—	—	2	0	2	*1	2	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	①	—	—	—	2	0	2	*1	2	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ *2 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空命装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 ()内はPM	直後	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	直後	SBO影響		計器候補等	SBO
						A 直流電圧を 延命した場合	B 直流電圧を 延命した場合						A 直流電圧を 延命した場合	B 直流電圧を 延命した場合		
d. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による燃料取扱棟（使用済燃料ピット内の燃料体等）への放水	使用済燃料ピットの監視	放射線	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			非気筒ガスモニタ	2	0	*2	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	①	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 放射線量と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	2	2	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
周辺環境の放射線量率	放射線	放射線	使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	1	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。
			モニタリングポスト	7	7	0	0	③	屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			モニタリングステーション	1	1	0	0	③	屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
操作	「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち1.12.2.2(1) d. 「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への拡散抑制」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数

*1：計器取り付け後監視可能

*3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

*2：試料採取に必要なサンプリング電源が確保するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 () 内はPAM 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM 直後	SBO影響		SBO				
									A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					
1.11.2.2 使用済燃料ピットからの大気の水の漏えい発生時の対応手順 (2) 漏えい緩和	a. 使用済燃料ピット漏えい 緩和 判断 基準 確	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット温度	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	* 1	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A (B, C) : 当該ループの計器数
* 1 : 計器取り付け後監視可能
* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空荷監視を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
a. 使用済燃料ピット漏えい 緩和	判 断 基 礎	使用済燃料ピ ットの監視	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			非気筒ガスモニタ	2	0	*2	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	1	0	0	使用済燃料ピット により使用済燃料ピット の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	1	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	*1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済 燃料ピット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) による 放射線量と水出しの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 計器取り付け後監視可能

*2 : 試料採取に必要なサンプアラ電源が喪失するため監視不可

*3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			SBO影響			計器故障等			SBO	
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A 直流電圧を 延命した場合	B 直流電圧を 延命した場合	A 直流電圧を 延命した場合	B 直流電圧を 延命した場合	計器故障等			
a. 使用済燃料ピット漏えい 緩和 操作	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2	2	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ型冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器候補等	SBO			
															パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	
1.11.2.3 重大事故等時における使用済燃料ピットの監視の手順 (1) 使用済燃料ピットの状態監視 a. 常設設備による使用済燃料ピットの状態監視	-	-	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	-	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	①	-	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	2	使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) による傾向監視により使用済燃料ピット水位の状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	①	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2 * 1	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	①	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	①	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	①	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	①	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	①	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	①	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ													
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SBO
a. 常設設備による使用済燃料ピットの状態監視	-	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	②	-	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			非気筒ガスモニタ	2	0 * 2	0	0	②	-	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	1	0	①	-	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	2	0	0

全：すべてのループの計器の合計数

A, (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 試料採取に必要なサンプアラーム電源が喪失するため監視不可

* 3 : 使用済燃料ピット監視カメラ型計測装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数	SBO	
					直後	A直流電圧を 延命した場合					直後	A直流電圧を 延命した場合				
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	監視監視機器	監視監視機器	原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	
			使用済燃料ピット温度	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 計器取り付け後監視可能
*2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価				
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数		計器候補等	SBO	
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	事後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合			
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			携帯型水温計	②	—	使用済燃料ピット監視カメラ *1	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を特定可能。	
			携帯型水温計	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	1	1	1	1	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価			
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	計器名	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピット水位	②	2	2	0	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
							使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
c. 可搬型設備による使用済燃料ピットの冷却等のための手順等	使用済燃料ピット水位	①	2	2	0	-	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	
							使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価				
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
h. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピットの監視 操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	①	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピットエアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は 代替パラメータにて 確認。 監視事項は 主要パラメータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	0	2	*1	0	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称		
1.12.2.1 炉心の著しい損傷、原子炉格納容器及びアニュラス部の破損時の手順 (1) 大気への放射性物質の拡散抑制	a. 可搬型大気塵海水濃度レベル ンブ取及び海水濃度による大気 への放射性物質の拡散抑制	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域—高温側) 個	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
原子炉格納容器 内の放射線量率		2 (2)	2	1	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域—低温側) 個 格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ) モニタリングポスト モニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	3 (全) 3 (全) 2 (2) 7 1	3 (全) 0 1 0 0	3 0 1 0 0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
原子炉格納容器 への圧入量		2	2	0	0	②	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直読電源を 延命した場合	B直読電源を 延命した場合	直後	A直読電源を 延命した場合		
a. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	原子炉格納容器内の圧力 操作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			格納容器圧力 (AM用)	2	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	格納容器内温度	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。		
			格納容器圧力 (熱感)	2	①	—	格納容器圧力 (熱感)	1	1	0	格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			格納容器内温度	2 (2)	③	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
周辺環境の放射線量	モニタリングポスト モニタリングステーション	モニタリングポスト モニタリングステーション	モニタリングポスト	7	③	—	—	—	—	—	—	—		
			モニタリングステーション	1	③	—	—	—	—	—	—	—	—	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM		直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
b. ガンマカメラ又はサーモカメラによる放射性物質濃度の検出の絞り込み	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高圧側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低圧側) 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	3 (3) 2 (2)	3 (全) 2 (2)	3 (全) 2 (2)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
		原子炉格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	—	—	燃料取扱用水レベル水位 B—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	2 (2) 1	2 (2) 1	2 (2) 1	1 1	水源である燃料取扱用水レベル水位の傾向監視によりB—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。	
	操作	操作	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取扱用水レベル水位 補助給水レベル水位 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2) 1	2 (2) 1	2 (2) 1	1 1	水源である燃料取扱用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
			格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	1

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：常用系から機械を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ					抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			評価			
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A:直流電源を 延命した場合 直後 B:直流電源を 延命した場合	SBO影響	計器名称	計器数 ()内はPAM	A:直流電源を 延命した場合 直後 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	SBO
(a) 集水料シルトフエンスによる海洋への放射性物質の拡散抑制	1.12.2.1 炉心の著しい損傷、原子炉格納容器及びアニュラス部の破損時の手順															
	(2) 海洋への放射性物質の拡散抑制 a. 海洋への放射性物質拡散抑制設備 (シルトフエンス) による海洋への放射性物質の拡散抑制															
(b) 炉格納シルトフエンスによる海洋への放射性物質の拡散抑制	1.12.2.1(1) a. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び取水船による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。															
	操作															
(b) 炉格納シルトフエンスによる海洋への放射性物質の拡散抑制	1.12.2.1(1) a. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び取水船による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。															
	操作															

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器故障等	SBO							
															パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由					
1.12.2.2 使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい漏出時の手順 (1) 大気への放射性物質の拡散抑制	a. 湯水を用いた可搬型大型 送水ポンプ相互及び可搬型ス ライダースルによる大気への放 射性物質の拡散抑制	判 断 基 準	使用済燃料ピット 下の監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
				使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット温度 使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	0		使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。		
				使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	2*1	0		0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	
				使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	2*1	0		0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	
				使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピット水位	2	2	2	0	0		0	使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	
				使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	1*1		0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
				使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0		0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
				使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2*1	0	0	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	1	0		0	0	評価範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。
				使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	2*1	0	0	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	1	0		0	0	評価範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。
				使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2*1	0	0	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	1	0		0	0	評価範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数
*1：計器取付後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
a. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車及び可搬型スプレイン レイノズルによる大気への放 射性物質の拡散抑制	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	0	0	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			排気筒ガスモニタ	2	0*1	0	—	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (全) 1.2 (全)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット監視エリ アモニタ	1	0	0	—	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット エアモニタにより使用済燃料ピット 可搬型エアモニタの代替監視可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	①	使用済燃料ピット監視カメラ	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による 放射線量モニタとの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	①	使用済燃料ピット監視カメラ	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による 放射線量モニタとの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	
			モニタリングポスト	7	0	0	③	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) 使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2 2	0 2*2	0 2	0 2	0 0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用 済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済 燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済 燃料ピット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。
			モニタリングステーション	1	0	0	③	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	—
			周辺環境の放射 線量率	1	0	0	③	屋外の放射線量を確認 するパラメータ	—	—	—	—	—	—
			操作	「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.2(1) a. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ」にて整備する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可
*2：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器候補等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
b. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 及び可搬型スプレイングスル による大気への放射性物質の拡 散抑制	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	2	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) の代替監視可能。	2	0	2*1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) の代替監視可能。	2	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) の代替監視可能。	2	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) の代替監視可能。	2	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) の代替監視可能。	2	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) の代替監視可能。	2	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) の代替監視可能。	2	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2*1	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型) の代替監視可能。	2	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：計器故障後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響							
							A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合						
b. 代替給水ピットを水原とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイにて蒸餾する。	放射性物質の拡散を抑制するための手順等	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエアモニタ	1	—	—	—	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。				
			排気筒ガスモニタ	2	—	—	—	0 * 1	0	2	1	1	1次冷却材圧力 (圧域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。			
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	—	—	—	0	0	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力 (圧域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	—	—	—	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による代替パラメータにより使用済燃料ピット監視可能。		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	—	—	—	0	0	1	0	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による代替パラメータにより使用済燃料ピット監視可能。		
			モニタリングポスト	7	—	—	—	0	1	0	0	2 * 2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
			モニタリングステーション	1	—	—	—	0	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
			周辺環境の放射線量率	モニタリングポスト	7	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0
				モニタリングステーション	1	—	—	—	0	0	1	0	0	0	0	0

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
* 1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可
* 2：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										SBO				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
分類	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。			
c. 原水槽を水源とした可搬型大型ポンプ車及び可搬型スプレイン/スルによる大気への放射性物質の拡散抑制	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を判定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2*1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2*1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	1*1	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2*1	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：計器故障後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
c. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへの放射性物質の拡散抑制	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。		
		排気筒ガスモニタ	1次冷却材圧力 (広域)	2	0*1	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
			加圧器水位	4	(2)	—	—	加圧器水位	4	4	1	1	1	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環ポンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。	
			格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	(2)	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
			蒸気発生器水位 (狭域)	12	(6)	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	12	12 (全)	3	3	3 (全)	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
		使用済燃料ピットの監視	主蒸気ライン圧力	12	(6)	—	—	主蒸気ライン圧力	12	12 (全)	3	3	3 (全)	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
			使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピットエアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エアモニタの代替監視可能。	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
		周辺環境の放射線量	モニタリングポスト	7	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			モニタリングステーション	1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.2(1) c. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへの放射性物質の拡散抑制」にて整備する。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可
*2：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価									
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO								
				A直流電源を 直後 延命した場合	B交流電源を 直後 延命した場合			A直流電源を 直後 延命した場合	B交流電源を 直後 延命した場合										
d. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	操作	1.12.2.2(1) a. 「海水を用いた可搬型スプレインノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。	分類	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。	
							使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
							使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。

*1: 計器取付け後監視可能
全: オブベてのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器数 ()内はPAM	計器名称	補測パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		SBO影響						
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					
d. 可搬型大気浄化装置取水ポンプ車及び取水機による大気への放射性物質の拡散抑制	操作	使用済燃料ピットの監視	1	使用済燃料ピットエアモニタ	—	②	—	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。			
			2	排気筒ガスモニタ	—	②	—	0	0	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認可能。			
			1	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	①	—	0	0	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
			1	使用済燃料ピット監視カメラ	—	①	—	0	1	0	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
			7	モニタリングポスト	屋外の放射線量を確認するパラメータ	③	0	0	7	0	—	—	—	—	—
			1	モニタリングステーション	屋外の放射線量を確認するパラメータ	③	1	0	1	0	—	—	—	—	—
			1	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	②	—	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
			2	1次冷却材圧力 (圧域) , 加圧器水位 , 格納容器再循環ポンプ水位 (圧域) , 蒸気発生器水位 (圧域) , 蒸気ライオン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
			2	格納容器再循環ポンプ水位 (圧域) , 蒸気発生器水位 (圧域) , 主蒸気ライン圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
			2	使用済燃料ピット水位 (AM用) , 使用済燃料ピット監視カメラ	—	①	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は代替パラメータにて確認可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可
*2：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ				抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	評価
c. ガンマカメラ又はサーモカメラによる放射性物質漏えい箇所の確認及び	1.12.2.2(1)a. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインジスルによる入気への放射性物質の拡散抑制」と同様。																	SBO
	判 所 基 礎 費 用 機 作																	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性情質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等			
	1.12.2.2 使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい出庫時の手順 (2) 揚子への放射性情質の拡散抑制 * 海洋への拡散抑制設備 (シルトフエンス) による海洋への放射性情質の拡散抑制													
(a) 集水料シルトフエンス による海洋への放射性情質の 拡散抑制	判 断 基 準													
(b) 貯集料シルトフエンス による海洋への放射性情質の 拡散抑制	判 断 基 準													

1.12.2.2 (1) d. 「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水船による大気への放射性情質の拡散抑制」と同様。

1.12.2.2 (1) d. 「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水船による大気への放射性情質の拡散抑制」と同様。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	
1.12.2.2 使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷時の手順 (2) 海洋への放射性物質の拡散抑制 b. 海洋への拡散抑制設備 (放射性物質吸着剤) による 海洋への放射性物質の拡散抑 制	判断基準	1.12.2.2(1) d. 「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水船による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。										計器故障等
	操作	-										

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類		補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称		計器数 ()内はPAM
				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	SBO		
1.12.2.3 原子炉建屋周辺における航空機衝突による航空機燃料火災時の手順 (1) 初期対応における延焼防止処置													
a. 化学消防自動車及び水罐 付消防ポンプ自動車による泡 消火	判断基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	水源の確保	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
b. 可搬型大型送水ポンプ車 及び小型放水車による泡消火	判断基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
c. 大母罐水災用消防自動車 による泡消火	判断基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価		
		抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
	分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合 直後	評価
1.12.2.3 原子炉建屋周辺における航空機燃料火災時の手順 (2) 航空機燃料火災への応用火	a. 可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び消滅合設備による航空機燃料火災への応用火									計器故障等
	判断基準									
	操作									

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO		
		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合					
(a) 燃料取扱専用水ピットを 水源とした1次冷却系の ファイアドアンドフリーズ	判断基準 最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	①	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		補助給水流量	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	①	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		燃料取扱専用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		水脈の確保	2 (2)	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料取扱専用水ピットを水源とした1次冷却系のファイアドアンドフリーズ	2 (2)	1	1	①	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	2 (A, C)	1 (B)	1 (B)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
燃料取扱専用水ピットを水源とした1次冷却系のファイアドアンドフリーズ	2 (2)	1	1	①	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

注：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価							
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器												
		計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 直後	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合								
(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 (b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水手順については、「1.4.2.1(d) b. (c) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。	1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 *、ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 への注水量	2 (2)	1	—	—	—	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	水漏である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により低圧注入流量の代替監 視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
												低圧注入流量	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入 流量の代替監視可能。		
												原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧 注入流量の代替監視可能。		
												格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により低圧注入流量の代替監 視可能。		
												燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水漏である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により高圧注入流量の代替監 視可能。		
												加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入 流量の代替監視可能。		
												原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧 注入流量の代替監視可能。		
												格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により高圧注入流量の代替監 視可能。		
												燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—		—
												補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—		—
ろ過水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—							
操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水手順については、「1.4.2.1(d) b. (c) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。																		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						計器故障等	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 遮断した場合 直後	B直流電源を 遮断した場合 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 遮断した場合 直後	B直流電源を 遮断した場合 延命した場合			
(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ (b) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ (c) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ (d) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレイ流量	2	0	0	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	1	—	監視事項は 代替ベータ にて 確認。	
		B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMU)	1	1	0	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	1	—	監視事項は 代替ベータ にて 確認。	
	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	1	—	水源である燃料取替用水ピットの水位 の傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。 格納容器再循環サンプル水位 (広域) の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	1	—	水源である燃料取替用水ピットの水位 の傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替 監視可能。 格納容器再循環サンプル水位 (広域) の 傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監 視可能。
		補助水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	ろ過水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	2	2	0	0	0	0	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合		
		計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	パラメータ 分類	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	SBO	
		原子炉圧力容器 内の温度			1次冷却材温度 (広域→高温側)		3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
					1次冷却材温度 (広域→低温側)		3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	0	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
					1次冷却材温度 (広域→高温側)		3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	0	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
					1次冷却材温度 (広域→低温側)		3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	0	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
					補助給水流量		3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	1 (B)	1 (B)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					蒸気発生器水位 (広域)		3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					蒸気発生器水位 (狭域)		1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					補助給水ピット水位		2 (2)	2	1	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					最終ヒートシンク の確保		3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					蒸気発生器水位 (広域)		3 (3)	3 (全)	1 (B)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					蒸気発生器水位 (狭域)		1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					1次冷却材温度 (広域→高温側)		3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					1次冷却材温度 (広域→低温側)		3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					1次冷却材温度 (広域→高温側)		3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					1次冷却材温度 (広域→低温側)		3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					補助給水ピット水位		2 (2)	2	1	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					水元の確保		2 (2)	2	1	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
					代給給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)d. 代給給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。								

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	直後	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	直後	B直流電源を 延命した場合				
		分類	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	抽出パラメータ 分類	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	直後	B直流電源を 延命した場合	計器名称等	SBO	
	1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 a. 代給給水ピストンを水源とした対応手順 b. 代給給水ピストンを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリを確保するための蒸気発生器への注水		原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域→高温側)	—	—	0	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。 1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			補助給水流量	補助給水ピストン水位	—	—	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	2	1	1	水源である補助給水ピストン水位の傾向を監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (広域) の傾向を監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (狭域) の傾向を監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。 炉心温度範囲であれば蒸気発生器水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	(a) 代給給水ピストンを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水		最終ヒートシンク の確保	蒸気発生器水位 (広域)	—	—	1 (B)	3 (全)	3 (全)	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) , 1次冷却材温度 (広域→高温側) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (広域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (狭域) の傾向を監視することにより、蒸気発生器水位 (広域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			水源の確保	補助給水ピストン水位	—	—	1	2 (全)	2	1	1	1	—	—	—
	操作		代給給水ピストンを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.1(2)d. 代給給水ピストンを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。												

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はIPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はIPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ピットを水源とした対応手順 c. 代替給水ピットを水源とした原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 への注水量	原子炉圧力容器 への注水量	代替給水ピット	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
				加圧器水位	4 (2)	4	1	0	—	—	1	1	
				原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	1	1	
				格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
				加圧器水位	4 (2)	4	1	0	—	—	1	1	
				原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	1	1	
				格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ピットを水源とした対応手順 c. 代替給水ピットを水源とした原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 への注水量	原子炉圧力容器 への注水量	代替給水ピット	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
				加圧器水位	4 (2)	4	1	0	—	—	1	1	
				原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	1	1	
				格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
				加圧器水位	4 (2)	4	1	0	—	—	1	1	
				原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	1	1	
				格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	
水源の確保	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1			
操作	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1)b. (c) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	代替給水ピット	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	1	1	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ピットを水源とした対応手順 d. 代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ駆圧時の蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (全)	1*1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	—	3 (3)	3 (3)	2 (A, C)	2 (A, C)	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		蒸気発生器水位 (広域)	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			補助給水ピット水位	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	—	2 (2)	2 (2)	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
		蒸気発生器水位 (広域)	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			補助給水ピット水位	2 (2)	2 (2)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	—	2 (2)	2 (2)	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
水源の確保	代給給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	蒸気発生器水位 (広域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		補助給水ピット水位	2 (2)	2 (2)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
操作	代給給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。											—	—			

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を過熱監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO						
									A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			直後	直後				
I.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ピットを水源とした対応手順 f. 代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	判 断 基 準	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレイ流量	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
				B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	2 (2)	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
			原子炉格納容器 への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位 の傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					2 (2)	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位 の傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					2 (2)	1	1	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位 の傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			操作	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。	—	—	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
							2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価							
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器												
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	直後	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合									
		計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	直後	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	SBO				
		監視パラメータ																	
		1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (5) 原水槽を水源とした対応手順 * 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																	
(a) 原水槽を水源とした可 燃性炉内注水ポンプ車による 蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域→高温 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (3)	3 (3)	1 *	3 (全)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→高温側) により1次冷却材温度 の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			1次冷却材温度 (広域→低温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンクが確保 されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確保 されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確保 されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			最終ヒートシンク の確保	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉内温度範囲であれば蒸気発生器水位 (広 域) の代替監視可能。 1次冷却材温度 (広域→低温側) , 1 次冷却材温度 (広域→高温側) の変化 を傾向監視することにより、蒸気発生 器水位 (広域) を推定し、最終ヒート シンクが確保されていることを推定可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			水源地の確保	2 (2)	2	1	1	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	相関係のある蒸気発生器水位 (広 域) の変化を傾向監視することによ り、蒸気発生器水位 (狭域) を推定 し、最終ヒートシンクが確保されてい ることを推定可能。 1次冷却材温度 (広域→低温側) , 1 次冷却材温度 (広域→高温側) の変化 を傾向監視することにより、蒸気発生 器水位 (狭域) を推定し、最終ヒート シンクが確保されていることを推定可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原水槽を水源とした可 燃性炉内注水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、1, 2.2.1(5)を、原水槽を水源とした可 燃性炉内注水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数
*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を過熱監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合				
		計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	パラメータ 分類	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	SBO			
		監視パラメータ													
		1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (5) 原水槽を水源とした対応手順 b. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水													
(a) 原水槽を水源とした可 燃型大型送水ポンプ車による 蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域→高温 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) により 1次冷却材温度 (広域→高温側) の 代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	
		1次冷却材温度 (広域→低温 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→高温側) により 1次冷却材温度 (広域→低温側) の 代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。	
		補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンク が確保されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	
		蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	
		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	
		蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	
		1次冷却材温度 (広域→高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。
		1次冷却材温度 (広域→低温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。
		補助給水ピット水位	2 (2)	2 (全)	1 (B)	2 (A, C)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→低温側) の代替監視可能。 炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。
操作	原水槽を水源とした可 燃型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可 燃型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はIPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はIPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 (b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 (c) 原水槽を水源とした原子炉冷却炉圧力バウンダリ駆動時の原子炉容器への注水	原子炉圧力容器への注水量 原子炉容器への注水 水質の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	
		加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	0	
		原子炉容器水位	1	1	1	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	—	—	
		格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	—	—	
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	
		加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	0	
		原子炉容器水位	1	1	1	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	—	—	
		格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	—	—	
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	
操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(0) b. (f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	
		補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合				
	分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	SBO	
	1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (5) 原水槽を水源とした対応手順 d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ配管時の蒸気発生器への注水														
(a) 原水槽を水源とした可 燃性炉型大型送水ポンプ車による 蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域→高温 側)	3 (3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			1次冷却材温度 (広域→低温 側)	3 (3)	3 (全)	0	—	—	炉心出口温度 (広域→高温側)の代替監視可能。	1	1	1*1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側)の代替監視可能。	
			補助給水流量	補助給水ピット水位	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンク が確保されていることを推定可能。
			最終ヒートシンク の確保	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
				蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
				蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	蒸気発生器水位 (広域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	炉心温度範囲内であれば蒸気発生器水位 (広 域) の代替監視可能。
				蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) , 1 次冷却材温度 (広域→高温側) の変化 を傾向監視することにより、蒸気発生 器水位 (広域) を推定し、最終ヒート シンクが確保されていることを推定可 能。
				補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	相関関係のある蒸気発生器水位 (広 域) の変化を傾向監視することによ り、蒸気発生器水位 (狭域) を推定 し、最終ヒートシンクが確保されてい ることを推定可能。
				水元の確保	2 (2)	2	1	1	—	水元の確保	2 (2)	2	1	1	1次冷却材温度 (広域→低温側) , 1 次冷却材温度 (広域→高温側) の変化 を傾向監視することにより、蒸気発生 器水位 (狭域) を推定し、最終ヒート シンクが確保されていることを推定可 能。
			操作	原水槽を水源とした可 燃性炉型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可 燃性炉型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。											

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価												
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO											
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合													
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (g) 原水槽を水源とした対応手順 f. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器 への在水量	原子炉格納容器 への在水量	格納容器スプレイ流量	2	0	-	-	-	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。										
														格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。				
														B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	0	-	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
														原子炉格納容器 への在水量	1	1	0	-	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
														格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	0	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
														燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	0	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
														補助給水レベル水位	1	1	0	-	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
														格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	0	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
														燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	0	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
														補助給水レベル水位	1	1	0	-	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
水源の確保	-	-	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	1	-	-	-	-	-	-	-	-										
														補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	1	1	
操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(f) b. (c) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																						

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器		抽出パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO
					A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合		
I.13.2.1 水源を利用した対応手順 (8) 脱気器タンクを水源とした対応手順 * 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バスタージ高圧時の蒸気発生器への注水	蒸気発生器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	母管ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	-	-	2 (2)	1	1	水漏である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
				3 (3)	3 (全)	3 (全)			2	3 (A, C)	3 (全)			蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
				1 (6)	1 (全)	1 (全)			3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。			
				2 (2)	2	2			3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。			
(a) 脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	1	0	-	-	2	2	2	-	-		
		脱気器タンク水位	3	3	3			3	3	-			-	
操作														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価							
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器												
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合								
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (8) 脱気器タンクを水源とした対応手順 b. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	判 断 基 準	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	2 (2)	2	1	1	1	水漏である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
				蒸気発生器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	—	—	—	—		—	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
						脱気器タンク水位	3	3 (全)	3 (A, C)	—	—	—	—	—	—		—	—	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
							3	3	0	0	—	—	—	—	—		—	—	—
操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.3.2.1(8) b. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。	全：すべてのループの計器の合計数 A(B,C)：当該ループの計器数																	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合				
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (8) 脱気器タンクを水源とした対応手順 c. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バスタージポンプの蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	水漏である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシン クが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			蒸気発生器タンクを水源と した電動主給水ポンプによる 蒸気発生器への注水	判 断 基 礎	3 (3)	2 (2)	3 (全)	3 (3)	蒸気発生器水位 (広域)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。	
									蒸気発生器水位 (狭域)	1,2 (6)	1,2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
									補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	補助給水ピット水位	—	—
脱気器タンクを水源と した電動主給水ポンプによる 蒸気発生器への注水	水源の確保	脱気器タンク水位	3	0	0	—	—	脱気器タンク水位	—	—	—	—	—		
			操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.4.2.3(1) a. (b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。											

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO	
					直後	A直前電源を 延命した場合					直後	B直前電源を 延命した場合			
(a) 海を水源とした可搬型 大型送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	利用 基準 準 則	最終ヒートシンク の確保	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				3 (3)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。		
				—	—	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。		
操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
			海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。												

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器		抽出パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	B直流電源を 延命した場合				
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (a) 海を水源とした対応手順 b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための蒸気発生器への注水	利 弊 基 礎	凝熱ヒートシンク の確保	補助給水流量	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	2 (2)	2 (2)	1	1	—	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、凝熱ヒートシンクが確保されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視することにより、凝熱ヒートシンクが確保されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視することにより、凝熱ヒートシンクが確保されていることを推定可能。 蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視することにより、凝熱ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて	
				3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	—	—	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	1			1
				1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)			3 (全)
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後		B直流電源を 延命した場合	
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (a) 海を水源とした対応手順 c. 海を水源とした原子炉容器圧力バウンダリ駆圧時の原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 への注水量	低圧注入流量	2 (2)	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水漏である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により低圧注入流量の代替監 視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉圧力容器 への注水量	2 (2)	1	1	①	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入 流量の代替監視可能。	
(a) 海を水源とした可搬型 大型送水ポンプ車による原子 炉容器への注水	原子炉圧力容器 への注水量	高圧注入流量	2 (2)	1	1	①	—	原子炉容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	原子炉容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により低圧注入流量の代替監 視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水漏である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により高圧注入流量の代替監 視可能。	
操作	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注 入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により高圧注入流量の代替監 視可能。	
		海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1) b. (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。												

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後			B直流電源を 延命した場合		
(a) 海を水源とした可搬型 大型送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	利用 基準 準 則	1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (9) 海を水源とした対応手順 d. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ駆圧時の蒸気発生器への注水	環境ヒートシンク の確保	補助給水流量	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	1	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。	
操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合		計器数 延命した場合	SBO
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (9) 水を水源とした対応手順 f. 水を水源とした原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレイ流量	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	1	監視事項は 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	1	監視事項は 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	—	監視事項は 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		補助排水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	—	—	監視事項は 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
操作	水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、1.6.2.1(0) b, (c) 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(0) b, (c) 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて監視する。													

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器		抽出パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					A監視電源を 延命した場合 直後	B監視電源を 延命した場合					A監視電源を 延命した場合 直後	B監視電源を 延命した場合				
1.13.2.2. 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取扱用ポンプへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用ポンプへの供給 (a) 原水槽を水減とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用ポンプへの供給	信号		ECOS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	原子炉圧力容器 内の温度	1	炉心出口温度	1	1*1	0	—	1次冷却材温度 (広域→高温側) 1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (3)	3 (全)	0	0	監視事項は 代替パワ メータにて 確認。		
	原子炉圧力容器 内の水位	4 (2)	加圧器水位	4	1	1	—	原子炉容器水位 サブクール度 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域→高温側)	1 1 2 (2)	1 1 3 (3)	1 1 3 (全)	0 0 1	0	監視事項は 主要パワ メータにて 確認。		
	判断基 礎 件 i. 原水槽を水源とした可搬 型大型送水ポンプ車による燃 料取扱用ポンプへの供給 (原子炉容器への注水平の場 合)	高圧注入流量	2 (2)	高圧注入流量	2	1	—	燃料取扱用ポンプ水位 加圧器水位 原子炉容器水位	2 (2)	4 (2)	1 1	1 1	0	1	水源である燃料取扱用ポンプ水位の 傾向監視により高圧注入流量の代替監 視可能。 加圧器水位の傾向監視により高圧注入 流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により高圧 注入流量の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器 への注水量	燃料取扱用ポンプ水位 (広域)	2 (2)	燃料取扱用ポンプ水位	2	2	—	燃料取扱用ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	1	1	水源である燃料取扱用ポンプ水位の 傾向監視により低圧注入流量の代替監 視可能。 加圧器水位の傾向監視により低圧注入 流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により低圧 注入流量の代替監視可能。
			低圧注入流量	2 (2)	低圧注入流量	2	1	—	加圧器水位 原子炉容器水位 燃料取扱用ポンプ水位 (広域)	4 (2)	4 (2)	1 1	1 1	0	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入 流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により低圧 注入流量の代替監視可能。 燃料取扱用ポンプ水位 (広域) の 水位変化により低圧注入流量の代替監 視可能。

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能
 A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用海水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器	2 (2)	2	1	1	1	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力(広域)の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
		1次冷却材圧力(広域)						3 (3)	3 (全)	3	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度(広域-高温側)により1次冷却材圧力(広域)の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	2 (2)	2	1	1	1	4 (2)	4	1	1	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内圧度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
		格納容器内圧度							2	2	0	飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器圧力により原子炉格納容器内圧度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	4 (2)	4	1	1	1	2	2	2	0	格納容器圧力(AM用)又は格納容器圧力(狭域)により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
		格納容器圧力(AM用)							2	2	1	格納容器内圧度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	2	2	0	0	0	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力(狭域)により格納容器圧力(AM用)の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて把握。
		格納容器圧力(AM用)							2	2	1	飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧度により格納容器圧力(AM用)の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価												
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器																	
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合										
1. 原水槽を水源とした可搬型大流量ポンプ車による燃料取器用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	原子炉格納容器内の水位	燃料取器再循環サンプ水位 (広域)	燃料取器再循環サンプ水位 (広域)	—	—	—	—	2	1	2	1	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
								1	1	1	0	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。										
								2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		水源である燃料取器用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
								1	1	1	0	1	0	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)										
								1	1	1	0	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量										
								2	1	2	1	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	1	2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) との相関関係により格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の代替監視可能。		
								3	3	3	3	3	3	補助給水ピット水位	2	2	2	2	2	2	2	水源である補助給水ピット水位の傾向が把握されていることにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
								3	3	3	3	3	3	蒸気発生器水位 (広域)	3	3	3	3	3	3	3	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
								3	3	3	3	3	3	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
								3	3	3	3	3	3	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
								3	3	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域-低値側)	1	2	3	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域-低値側)、1次冷却材温度 (広域-高値側) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
								3	3	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域-高値側)	3	3	3	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域-高値側) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
								3	3	3	3	3	3	燃料取器用水ピット水位	2	1	2	1	2	1	2	燃料取器用水ピット水位 (広域) の傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価												
			計器数 ()内はDPM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はDPM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器故障等	SBO											
													パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由									
i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助圧縮タンクタンク水位	2	0	0	0	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。										
			排気筒ガスモニタ (低レンジ)	2	0*1	0	0	2	2	1	1	1		監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。									
			排気筒ガスモニタ (高レンジ)	1	0*1	0	0	1	1	1	1	1			監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。								
			1次冷却材圧力 (広域)	2	2	2	2	2	2	1	1	1				監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。							
			加圧器水位	4	4	4	4	4	4	1	1	1					監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。						
			格納容器再循環タンク水位 (広域)	2	2	2	2	2	2	1	1	1						監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。					
			蒸気発生器水位 (狭域)	12	12	12	12	12	12	3	3	3							監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。				
			主蒸気ライン圧力	12	12	12	12	12	12	3	3	3								監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。			
			1次冷却材圧力 (広域)	2	2	2	2	2	2	1	1	1									監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。		
			加圧器水位	4	4	4	4	4	4	1	1	1										監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。	
			格納容器再循環タンク水位 (広域)	2	2	2	2	2	2	1	1	1											監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。
			蒸気発生器水位 (狭域)	12	12	12	12	12	12	3	3	3											
主蒸気ライン圧力	12	12	12	12	12	12	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認。 1 次冷却材圧力 (広域), 加圧器水位, 格納容器再循環タンク水位 (広域), 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。													

*1: 燃料採取に必要なサブプログラム電源が喪失するため監視不可

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO			
					直後	A直前電源を 延命した場合					直後	B直前電源を 延命した場合					
i. 原水槽を水源とした可搬 型大型海水ポンプ車による燃 料供給用海水ポンプへの接続 (原子炉容器への注水中の場 合)	復水器排気ガスモニタ		1	0 * 1	0	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。				
	蒸気発生器ブローダウンモニ タ		1	0 * 2	0	—	—	蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。				
	高感度型主蒸気管モニタ		3	3	0	—	—	蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。				
	判 所 基 礎	密閉容器/パイ プの監視		1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	—		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
									主蒸気ライン圧力	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	2 (A, C)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
									補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	1 (B)	2 (A, C)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
									1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	1 (B)	1 (A, C)	1 (B)	1 (A, C)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
				2	2	0	—		加圧器水位	4 (2)	4 (全)	1 (B)	1 (A, C)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
									格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (全)	1 (B)	1 (A, C)	1 (B)	1 (A, C)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
									蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
									主蒸気ライン圧力	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランクトトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響		計器候補等	SBO	
					直後	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合	直後			A直流電源を 延命した場合
1. 原水罐を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水中の停止)	判 断 基 準	格納容器ベイバスの監視	格納容器ベイバスの監視	余熱除去冷却器入口温度	2	0	0	—	—	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域)	2	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
				余熱除去冷却器出口温度	2	0	0	—	—	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェーズシステムALOCAの傾向監視が可能。	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
				余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	0	—	—	2	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェーズシステムALOCAの傾向監視が可能。	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク水位	1	0	0	—	—	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェーズシステムALOCAの傾向監視が可能。	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
				格納容器サンプ水位	2	0	0	—	—	2	格納容器サンプ水位の上昇がないこと、ALOCAの傾向監視が可能。	2	1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク圧力	1	0	0	—	—	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェーズシステムALOCAの傾向監視が可能。	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
				格納容器サンプ水位	2	0	0	—	—	2	格納容器サンプ水位の上昇がないこと、ALOCAの傾向監視が可能。	2	1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク温度	1	0	0	—	—	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェーズシステムALOCAの傾向監視が可能。	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク圧力	1	0	0	—	—	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェーズシステムALOCAの傾向監視が可能。	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
				格納容器サンプ水位	2	0	0	—	—	2	格納容器サンプ水位の上昇がないこと、ALOCAの傾向監視が可能。	2	1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク温度	1	0	0	—	—	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェーズシステムALOCAの傾向監視が可能。	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク圧力	1	0	0	—	—	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェーズシステムALOCAの傾向監視が可能。	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価				
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等		SBO		
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
1. 原水槽を水櫃とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの構設(原子炉容器への注水中の場合)	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	—	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングシステム上の指示のメータにて上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。	
			2 (2)	—	—	モニタリングシステム上の指示のメータ	7	7	0	0	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。	
			1	—	—	モニタリングシステム上の指示のメータ	1	1	0	0	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。	
			2 (2)	—	—	エアロクックエアロモニタ	1	1	0	0	エアロクックエアロモニタ及び炉内検計器監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。	
			1	—	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	0	1	炉内検計器区域エアロモニタ	炉内検計器区域エアロモニタの代替監視可能。
			1	—	—	エアロクックエアロモニタ	1	1	0	0	0	炉内検計器区域エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。
			1	—	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	0	1	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。
			1	—	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	0	1	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。
			1	—	—	格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	0	1	炉内検計器区域エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。
			1	—	—	格納容器ガスマモニタ	1	0*1	0	0	1	格納容器ガスマモニタの代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。

全：すべてのループの計器の台数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価						
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMH)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMH)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全: すべてのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価												
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器																	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合													
1. 原水槽を水源とした可搬型大形送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	操作	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	計器故障等	SBO		
			2次系純水タンク水位	2	1, 2号中央制御室に機器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	SBO		
Ⅱ. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの補給 (原子炉冷却剤容器内へのスプレイ中の場合)	判 断 基 礎	信号	RCGS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1 * 1	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側) 1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	4	1	—	原子炉容器水位 サブクール度	1 1	1 0	0	評価範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。 サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内冷却剤ピットの状態を確認可能かを監視することにて、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	—	加圧器圧力 1次冷却材温度 (広域—高温側) 1次冷却材圧力 (広域)	4 3 (3)	4 3 (全)	0 3 (全)	評価範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。 原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度 (広域—高温側) により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。 原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度 (広域—低温側) により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																																																										
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO																																																									
					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	B直流電源を 延命した場合																																																											
ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの補給（原子炉燃料容器内へのスプレイ中の場合）	判断基準 原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	2 (2)	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。																																																								
														低圧注入流量	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	2 (2)	2 (2)	1	1	1	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。																																										
																												代替燃料容器スプレイポンプ 出口積算流量	燃料取扱用水ピット水位 補助給水ピット水位	2 (2)	1	0	2 (2)	2 (2)	1	1	1	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替燃料容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により代替燃料容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。																												
																																										格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	2 (2)	2 (2)	1	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。 水源である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。														
																																																								格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	0	2 (2)	2 (2)	1	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化により代替燃料容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化により代替燃料容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
注：原水罐を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内温度	2 (2)	2	2	2	—	—	原子炉格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	2	2	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器への注水量	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			格納容器スプレイ流量	2 (2)	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			格納容器内温度	2 (2)	2	2	2	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
Ⅲ、原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取器取水ポンプヘッドへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイング中の場合）	原子炉格納容器内の水位 最終ヒートシンクの確保	2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	—	—	—	2	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	1	1	1	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
		2	燃料取器取水ポンプ水位	—	—	—	2	燃料取器取水ポンプ水位	2	1	1	1	1	2	1	1	水源である燃料取器取水ポンプ水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-格納容器スプレイング出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイング出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	補助給水ピット水位	—	—	—	2	補助給水ピット水位	2	1	1	1	1	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向が確保されていることを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
		3	補助給水流量	—	—	—	3	補助給水流量	3	2	2	2	2	3	2	2	監視事項は主要パラメータにて確認。
		3	蒸気発生器水位 (広域)	—	—	—	3	蒸気発生器水位 (広域)	3	1	1	1	1	3	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		3	蒸気発生器水位 (狭域)	—	—	—	3	蒸気発生器水位 (狭域)	3	2	2	2	2	3	2	2	監視事項は主要パラメータにて確認。
		3	1次冷却材温度 (広域-低阻側)	—	—	—	3	1次冷却材温度 (広域-低阻側)	3	1	1	1	1	3	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		3	1次冷却材温度 (広域-高阻側)	—	—	—	3	1次冷却材温度 (広域-高阻側)	3	2	2	2	2	3	2	2	監視事項は主要パラメータにて確認。
		3	蒸気発生器水位 (狭域)	—	—	—	3	蒸気発生器水位 (狭域)	3	1	1	1	1	3	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		3	燃料取器取水ポンプ水位	—	—	—	3	燃料取器取水ポンプ水位	3	2	2	2	2	3	2	2	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	燃料取器取水ポンプ水位	—	—	—	2	燃料取器取水ポンプ水位	2	1	1	1	1	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価						
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
注：原水槽を水廻とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用送水ポンプへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ） 格納容器内低レンジエアモニタ（低レンジ）	2 (2)	格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）	—	—	—	2 (2)	格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）	2	1	0	1	格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）並びにモニタリングシステム上の指示のモニタにて上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。			
			2 (2)	格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	—	—	2	1	0	0	エアロックエアモニタ	1	0	0	エアロックエアモニタ及び炉内核計装区画エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	エアロックエアモニタ及び炉内核計装区画エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			1	エアロックエアモニタ	—	—	1	0	0	0	炉内核計装区画エアモニタ	1	0	0	炉内核計装区画エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	炉内核計装区画エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			1	格納容器内高レンジエアモニタ	—	—	1	0	0	0	エアロックエアモニタ	2	1	1	1	エアロックエアモニタ及び炉内核計装区画エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	エアロックエアモニタ及び炉内核計装区画エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			1	炉内核計装区画エアモニタ	—	—	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			1	格納容器じんあいモニタ	—	—	1	0*1	0	0	0	格納容器じんあいモニタ	2	1	1	1	格納容器じんあいモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器じんあいモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	格納容器ガスマモニタ	—	—	1	0*1	0	0	0	格納容器ガスマモニタ	2	1	1	1	格納容器ガスマモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器ガスマモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	格納容器ガスマモニタ	—	—	1	0*1	0	0	0	格納容器ガスマモニタ	2	1	1	1	格納容器ガスマモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器ガスマモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	格納容器ガスマモニタ	—	—	1	0*1	0	0	0	格納容器ガスマモニタ	2	1	1	1	格納容器ガスマモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器ガスマモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	格納容器ガスマモニタ	—	—	1	0*1	0	0	0	格納容器ガスマモニタ	2	1	1	1	格納容器ガスマモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器ガスマモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の台数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合					
注。原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水セットへの供給（原子炉容器内へのスプレイ中の場合）	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲房線電圧, 乙房線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			抽機監視機能														
			操作														

注。1.13.2.2(1) a. (a) 1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水セットへの供給（原子炉容器への注水時の場合）」の操作手順と同様である。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:監視電源を 延命した場合 直後	B:監視電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A:監視電源を 延命した場合 直後	B:監視電源を 延命した場合					
1.13.2.2. 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取扱用ポンプへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプによる燃料取扱用ポンプへの補給 (2) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる燃料取扱用ポンプへの補給	信号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる燃料取扱用ポンプへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)	原子炉圧力容器内の風度	1	1	1*1	0	—	—	—	—	—	—	3 (全)	0	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—	2 (2)	1	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	高圧注入流量	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	4 (2)	1	1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉圧力容器への注水量	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	2 (2)	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
1. 代替給水ピットを水脈と した可搬型大型送水ポンプ車 による燃料取替用水ピットへ の補給 (原子炉容器への注水 中の場合)	原子炉圧力容器 内の圧力	原子炉圧力容器 1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により 1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
		原子炉圧力容器 内の圧力	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材圧力 (広域) の代替監視 可能。 原子炉圧力容器内の飽和状態であれば 1次冷却材温度 (広域-高温側) によ り1次冷却材圧力 (広域) の代替監視 可能。	3 (3)	3 (全)	3	0		
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 圧力	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば 1次冷却材温度 (広域-高温側) によ り1次冷却材圧力 (広域) の代替監視 可能。 飽和温度/圧力の関係を利用して原子 炉格納容器圧力により格納容器内圧 力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (狭域)	2	2	2	0	原子炉格納容器圧力 (狭域) により格納容器内圧 力の代替監視可能。 飽和温度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧力により格納容器内圧 力の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 圧力	2	2	0	0	—	—	格納容器内圧力	2 (2)	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (狭域) により原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器内圧力	2 (2)	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) により格納 容器内圧力により格納容器内圧 力の代替監視可能。 飽和温度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧力により格納容器内圧 力の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 圧力 (AM用)	2	2	0	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (狭域) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 圧力 (AM用)	2	2	0	0	—	—	格納容器内圧力	2 (2)	2	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (狭域) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 飽和温度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧力により格納容器内圧 力の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	SBO			
			計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合		
														パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広 域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
				2 (2)	1	1	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。			
				2 (2)	1	1	2 (2)	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	0	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。		
				2 (2)	1	1	2 (2)	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1	1	1	0	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。		
				2 (2)	1	1	2 (2)	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。		
				2 (2)	1	1	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	1	1	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) と の相関関係により格納容器再循環サ ンプ水位 (狭域) の代替監視可能。
				3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	3 (3)	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1	1		水源である補助給水ピット水位の相関 関係により、最終ヒートシンク が確保されていることを推定可能。
				3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	3 (3)	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	1	2 (A, C)	1 (B)	1		蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
				3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	3 (3)	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)		蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
				3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-低 温)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)		1次冷却材温度 (広域-低高温)、1 次冷却材温度 (広域-高温) の変化 を傾向監視することにより、蒸気発生 器水位 (広域) を推定し、最終ヒート シンクが確保されていることを推定可 能。
				1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)		相関関係のある蒸気発生器水位 (広 域) の変化を傾向監視することによ り、蒸気発生器水位 (狭域) を推定 し、最終ヒートシンクが確保されてい ることを推定可能。
				2 (2)	1	1	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	1		1次冷却材温度 (広域-低高温)、1 次冷却材温度 (広域-高温) の変化 を傾向監視することにより、蒸気発生 器水位 (狭域) を推定し、最終ヒート シンクが確保されていることを推定可 能。

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																																																																																																																																																																											
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合																																																																																																																																																																									
														SBO影響		SBO影響																																																																																																																																																																						
i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助送風タンクタンク水位	2	0	0	-	-	2	2	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																																																																									
														排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	1	0*1	0	-	-	1	0*1	0	0	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																																																												
																											排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	-	-	2	0*1	0	0	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																																															
																																								1次冷却材圧力(広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																																		
																																																					格納容器再循環タンク水位(広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																					
																																																																		蒸気発生器水位(狭域)	1.2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																								
																																																																															主蒸気ライン圧力	1.2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																											
																																																																																												1次冷却材圧力(広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																														
																																																																																																									格納容器再循環タンク水位(広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																	
																																																																																																																						蒸気発生器水位(狭域)	1.2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																				
																																																																																																																																			主蒸気ライン圧力	1.2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認。																																							
																																																																																																																																																1次冷却材圧力(広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																										
																																																																																																																																																													格納容器再循環タンク水位(広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。													
																																																																																																																																																																										蒸気発生器水位(狭域)	1.2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認。
1次冷却材圧力(広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																																																																										
													格納容器再循環タンク水位(広域)	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																																																													
																										蒸気発生器水位(狭域)	1.2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																																																
																																							主蒸気ライン圧力	1.2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認。																																																																																																																																			

*1: 燃料採取に必要なサブアラーム電源が喪失するため監視不可

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					直後	A直前電源を 延命した場合					直後	A直前電源を 延命した場合				
i. 代産給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用海水ピットへの供給（原子炉容器への注水中の場合）	判 断 基 礎	密封容器・パイプの監視	復水器排気ガスモニタ	1	0 * 1	0	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			蒸気発生器プロローダラインモニタ	1	0 * 2	0	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	1 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			主蒸気ライン圧力	1 2 (6)	3 (全)	3 (全)	—	—	主蒸気ライン圧力	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	—	—	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	1 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	1 (B)	2 (A, C)	1 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			加圧器水位	4 (4)	4 (全)	4 (全)	—	—	加圧器水位	4 (4)	4 (全)	4 (全)	1 (B)	1 (全)	1 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			燃料容器再循環ポンプ出口圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	—	—	燃料容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	1 (B)	1 (全)	1 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。			
主蒸気ライン圧力	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	—	—	主蒸気ライン圧力	1 2 (6)	1 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。			

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランクトトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器故障等	SBO				
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による緊急取替用水ピットへの船舶（原子炉容器への注水中の場合）	判 断 基 準	格納容器バイパスの監視	格納容器バイパスの監視	計器名称	抽出パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SBO			
				余熱除去冷却器入口温度	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	0	0	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
				余熱除去冷却器出口温度	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	0	0	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
				余熱除去冷却器出口温度	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	0	0	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
				余熱除去冷却器出口温度	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	0	0	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
				余熱除去冷却器出口温度	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	0	0	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
				加圧器逃がしタンク水位	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	0	0	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
				加圧器逃がしタンク水位	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	0	0	0	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないことALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク圧力	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	0	0	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク圧力	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	0	0	1	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇がないことALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク圧力	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	0	0	0	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないことALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
				加圧器逃がしタンク温度	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	0	0	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準 原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器	格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ)	2 (2)	—	—	格納容器内高レンジエアモニータ (低レンジ)	2 (2)	2	1	0	1	格納容器内高レンジエアモニータ (低レンジ)並びにモニタリングシステムの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			モニタリングシステムガス	7	—	—	モニタリングシステムガス	1	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			モニタリングシステムガス	1	—	—	モニタリングシステムガス	1	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			エアロックエアモニータ	2 (2)	—	—	格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ)	2 (2)	2	1	0	0	エアロックエアモニータ及び炉内核計測装置エアモニータの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			炉内核計測装置エアモニータ	1	—	—	炉内核計測装置エアモニータ	1	1	1	0	0	炉内核計測装置エアモニータの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			エアロックエアモニータ	1	—	—	エアロックエアモニータ	1	1	1	0	0	エアロックエアモニータ及び炉内核計測装置エアモニータの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			格納容器内高レンジエアモニータ (低レンジ)	2 (2)	—	—	格納容器内高レンジエアモニータ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ)	2 (2)	—	—	格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニータ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器じんあいモニータ	1	—	—	格納容器じんあいモニータ	1	0*1	0	0	0	0	0	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニータ (低レンジ)により炉心損傷の恐れを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器ガスモニータ	1	—	—	格納容器ガスモニータ	1	0*1	0	0	0	0	0	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニータ (低レンジ)により炉心損傷の恐れを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の台数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価														
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器																	
			計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM		A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合												
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用本ピットへの橋給（原子炉容器への注水中の場合）	電源	電源	後幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			燃料取扱替用本ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
Ⅱ、代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給（原子炉格納容器へのスプレイ中の場合）	信号	RCGS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度（広域—高温側） 炉心出口温度の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	0	0	0	0	1次冷却材温度（広域—高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	—	
			サブクール度	4 (2)	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域—高温側）により原子炉圧力容器内サブクール状態の過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	1	1	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	—	
加圧器圧力			—	—	—	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	—		
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	1	1	—	—	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度（広域—高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	0	0	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度（広域—高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		1次冷却材圧力（広域）	3 (3)	0	0	—	—	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	0	0	3 (全)	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	—	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																																																																																																	
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO																																																																																																
					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	B直流電源を 延命した場合																																																																																																		
ii. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器へスプレイ中の場合）	原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	高圧注入流量	高圧注入流量	高圧注入流量	高圧注入流量	高圧注入流量	高圧注入流量	高圧注入流量	高圧注入流量	高圧注入流量	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																																
													燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																				
																									加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																								
																																					原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																												
																																																	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																
																																																													燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																				
																																																																									加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																								
																																																																																					原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。												
																																																																																																	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	加圧器水位	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																																	
												原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	原子炉容器水位	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																					
																								格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																									

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数